

此貸金、、、、

前記人名ノ委任ヲ受請求書差出候也

右人夫總代

住所

氏

名印

年月日

東京市參事會
市長 宛

印紙

右請求金額正ニ領收候也

右

名印

年月日

(第七號書式)

事務擔當

採掘管理人

砂利送狀

第何號

一船名 號

- 一船員氏名
- 一積載量
- 一定繫場發月日時
- 一摘要

東京市多
摩川砂利
採掘古川
事務所印

事務擔當

受取狀

第何號

一船名 號

一船員氏名

一積載量

一着船月日時

一摘要

東京市多
摩川砂利
採掘月島
事務所印

●土木課技手技手補雇休暇期間

明治三十二年七月二十五日
市訓令甲第二十五號

土木部土木課ニ屬スル技手技手補及雇ハ一ケ年内ニ於テ各員申合事務差支ナキ限リ左記ノ期間内休暇差許ス
 技手技手補 貳週間以内
 雇 壹週間以内

●市土木工事日數中控除

明治三十三年十一月二十四日
 市訓令甲第六十六號

土木部
 水道部

市區改正事務所

本市土木工事日數中左記ノ日ハ之ヲ控除ス可シ

- 一 一般ノ祭祝日
- 一 一月一日 二月三日
- 一 十月一日(日本市紀念日)

一十二月三十一日

●土木請負工事日數算定方

明治三十三年八月一日市長決判
 土發第千六百八十六號

請負工事日數ハ從來雨天ヲ除キ何日間ト計算シ來リ候處右ハ監督上不便ノ虞有之候ニ付自今晴雨ニ係ハラズ單ニ日數何日間ト稱スルモノトス

●敷石願許可標準内規

明治三十三年七月七日市參事會議決
 土發第千五百七十七號

一 敷石ヲ許可スル道路ハ歩車道境界下水ノ設ケアル線路ノ歩道トス

但境界下水ナキ道路ノ場合一町内若クハ其線路ノ全部ニ敷設セントスル者ハ此限リニアラス

一 間口貳間以上ニシテ道路全幅敷設ノモノニ限ル事

一 敷石ハ花崗石若クハ人造石平方壹尺厚三寸以上ノモ

ノニ限ル事

- 一 煉化石ハ面横黒焼過キ若クハ普通焼過キノモノニ限ル事
- 一 道路ノ地盤ヨリ高低ナキ様敷設セシムル事
- 一 構造方法ハ地質ノ硬軟ニ拘ラス基礎ハ可成結成石厚三寸乃至貳寸トシ合セ目ハ砂詰メニ爲サシムル事
- 一 魚市場及青物市場等ノ道路ニ對シテ其狀況ニ依リ許可スルコトアルヘシ
- 一 當廳ノ都合ニ依リ一時撤去或ハ全ク撤去ヲ命シ又ハ任意ニ依リ撤去ノ場合ハ原形路面ニ倣ヒ自費ヲ以テ修理セシムル條件ヲ附シ指令スルモノトス

● 樹木植付ニ關スル内規

明治三十二年十月六日市參事會議決
第一萬四千三百四十一號

- 一 道路並ニ橋臺廣場ニ植付クル樹木ハ櫻樹柳樹ノ二種

トシ目通六寸以上トス

- 但道路擴築等ノ結果路盤ニ現出シタル樹木中市街ノ美觀ヲ添フルト認ムルモノハ道路ノ幅員樹木ノ種類如何ニ拘ラス存置スルモノトス
- 二 樹木ハ三間乃至五間毎ニ植付クルモノトス
- 三 人道二間以上並ニ橋臺廣場ニ在テハ市ニ於テ負擔シ人道中下水縁ヘ植付クルモノトス
- 但人車道境界ナキ道路及人道二間未滿ト雖モ土地ノ狀況ニ依リ植付ヲ爲スコトアルヘシ
- 四 有志者ニシテ自費ヲ以テ一町内又ハ數區域内ヘ植付ヲ出願スルモノアルトキハ許可スルコトアルヘシ
- 但植付ケタル樹木ノ培養ハ出願者ノ負擔トス
- 工事入札請負規則明治二十二年七月八日市告示第十六號
- 工事入札請負規則市會ノ議決ヲ經テ左ノ通之ヲ定ム

工事入札請負規則

第一條 工事請負入札人ハ不動産ヲ有シ二箇年以來所得稅ヲ納メ及土木事業ニ従事シタルモノニ限ル
 前項ノ資格ヲ有スル者ハ入札前資格證明書ニ市(東京市ヲ除ク)區町村長ノ證印ヲ受ケ差出スヘシ其證明書ハ入札人ノ資格ヲ失ハサル限リハ證印ヲ受ケタル日ヨリ一箇年間ノ効力ヲ有スルモノトス
 但既往ノ成跡ニ不都合ノ行爲アリト認ムルトキハ入札ノ數ニ加ヘサルコトアルヘシ
 入札人ハ工事方法書及實地ヲ熟覽シ左ノ條項ヲ遵守シ豫定ノ日時迄ニ入札スヘシ
 但請負ヲ命スルトキハ詳細ナル内譯書ヲ差出スヘシ

シ(二十六年九月二十七日市告示第六十號)ヲ以テ第一條乃至第六條及第九條改正

第二條 入札人ハ入札保證金ヲ納ムルニ非サレハ入札

スルヲ許サス

但其金額ハ隨時之ヲ定ムルモノトス

入札保證金ハ入札書ト同時ニ差出スヘキモノトス

入札保證金ハ開札ノ後落札人ヲ除キ其他ハ直ニ之ヲ還付スルモノトス

第三條 開札ハ入札人ノ面前ニ於テシ金額最モ低キ者ヘ請負ヲ命スヘシト雖モ調査ノ上不相當ト認ムルトキハ入札人ヲ直ニ再入札ヲ爲サシムルカ又ハ當應ノ都合ニ依リ全ク其請負ヲ命セサルコトアルヘシ
 二人以上入札金額同一ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定メシム

第四條 入札人又ハ請負人病氣或ハ旅行其他事故アリテ該入札又ハ工事ニ干與シ難キトキハ代理人ヲ定メ届出ツヘシ

但代理人ハ第一條第一項第二項ニ規定ノ資格證明書ヲ有スルモノニ限ル

第五條 入札人請負ヲ命セラレタルトキハ其翌日正午十二時迄ニ不動産ヲ所有シ二箇年以來所得稅ヲ納ムル保證人連署別紙書式ノ請書並身元保證物トシテ請負金額一割五分(金百圓ニ付)ニ相當スル公債證書又ハ通貨又ハ當廳ノ指定スル銀行會社ノ株券或ハ其預リ金券ヲ差出スヘシ

但第六條但書ノ著手金ヲ望ム者ノ身元保證物ハ請負金額ノ五割トス

身元保證物ハ竣功検査済ノ後ニ非サレハ還付セサルモノトス

第六條 請負金渡方ハ工事五分ノ一以上出來ノ都度五分ノ一宛ヲ下渡スヘシ

但工事著手前資金下渡ヲ望ム者ハ請負金高ノ三割五分(金百圓ニ付)ヲ著手金トシテ下渡シ其餘ハ本文ニ據ル

第七條 請負ヲ命セラレタル者請書ヲ差出ササル以前ニ在テ當廳ノ都合ニ依リ工事ノ變更又ハ廢止ヲ要スルトキハ第二條ノ入札保證金ヲ還付シ其請負ヲ解クコトアルヘシ

請負ヲ命セラレタル者請書ヲ差出シ若クハ起工ノ後ニ於テ當廳ノ都合ニ依リ工事ノ變更又ハ其中止廢止ヲ要スルトキハ請負ヲ解クコト前項ニ同シ此場合ニ於テハ第五條ノ保證物ヲ還付シ其既ニ起工セシモノハ現在ノ出來形及其場所へ持込ミタル材料ニ應シ當廳ニ於テ相當ト認ル金員ヲ給スヘシ

第八條 開札後未タ請負ヲ命セサル以前ニ在テ其入札

ノ取消ヲ乞フ者又ハ第四條ニ掲クル代理人ノ届出ヲ爲ササル者及其入札事件ニツキ當應ノ召喚ニ應セサル者ハ第二條ノ入札保證金ヲ以テ違約ニ係ル損害賠償金ニ充テ之ヲ返還セサルヘシ

請負ヲ命セラレタル者未タ請書ヲ差出ササル以前ニ在テ入札ノ取消ヲ乞ヒ又ハ第五條ノ定期ヲ履行セサルトキハ亦前項ニ依リ處分スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ其入札ヲ無効ノモノトシ又ハ其請負ヲ命シタルコトヲ取消スヘシ

第九條 請負ヲ命セラレタル者請書ヲ差出シタル後ニ於テ罷免ヲ乞フトキハ違約ニ係ル損害賠償金トシテ請負金高百分ノ十五ヲ納メシムヘシ

工事著手後ニ係ルモノハ前項ニ依リ損害賠償金ヲ納メシムヘシト雖モ其出來形所定ノ計畫ニ違ハサルト

キハ當應ニ於テ相當ト認ムル金額ヲ給スヘシ

第十條 工事中ハ掛リ吏員ノ指揮ヲ受クル勿論ナリト雖モ所用材料ノ品位數量寸尺等ハ使用前届出検査ヲ受クヘシ

工事出來形所定ノ計畫ニ違フト認ムルトキハ日ヲ刻シ更正ヲ命スヘシ

請負人此命ヲ受クルモ其當務ヲ怠ルトキハ其請負ヲ廢シ第九條ニ準シテ處分スヘシ

第十一條 認可ヲ經ヌシテ起工若クハ竣工ノ期限ヲ遷延スルトキハ違約ニ係ル損害賠償金トシテ一日ニ付請負金高百分一ノ割合ヲ以テ遷延シタル日數ニ乗シ算出セル金額ヲ納メシムヘシ

第十二條 當應ニ於テ未タ工事ノ竣工ヲ認サル前ニ在テ其出來形若クハ物料ノ毀損又ハ亡失セシトキハ其

損失ハ請負人ノ負擔トス

但天災其他抗拒スヘカラサル災害ニ由リ事狀餘儀
ナキモノハ別段ノ詮議ヲ以テ其損失金ノ幾分ヲ補
給スルコトアルヘシ

第十三條 工事竣功ノ後所定ノ後請合期日中ハ第五條
ニ掲クル身元保證物ノ内請負金高五分（金百圓ニ付）以
上ニ相當スヘキモノヲ仍ホ當應ニ領置シ滿期ニ至リ
還付スルモノトス

前項期日内ニ天災又ハ他ノ害ヲ受クルニ非シテ改造
又ハ修繕ヲ要スル場合ニ於テ請負人其當務ヲ怠ルト
キハ前項ノ保證物ヲ以テ其費用ニ充テ殘餘アレハ還
付シ不足ヲ生スルトキハ更ニ追徴スヘシ

第十四條 第九條第十條第二項第十一條ニ掲クル違約
ヨリ生スル損害辨償金ハ日ヲ刻シテ之ヲ完納セシム

若シ之ヲ怠ルトキハ豫テ領置シタル身元保證物ヲ以
テ之ニ充テ（公債證券）殘餘アレハ還付シ不足ヲ生
スルトキハ之ヲ追徴スヘシ

但違約ヨリ生スル辨償金ハ現ニ有形上ノ實害金高
ニ拘ラス豫定金額ハ異議ナク完納スヘキモノトス
別段ノ賠償金ニ至テハ其損害ヲ積算シ納メシムヘ
シ

第十五條 請負ヲ廢スル場合ニ於テ既ニ第六條ノ著手
金ヲ受取リシ者ハ即時ニ之ヲ還納セシムヘシ若シ之
ヲ還納セサルトキハ豫テ領置シタル身元保證物ヲ以
テ之ニ充ツルコト第十四條ニ同シ

但此場合ニ於テハ第一ニ著手金ヲ引去リ次ニ違約
辨償金ニ及スヘシ

（請書書式）

請書

何區何町何何工事

入札高

一金何百圓也

請負高

此身元保證物

何分利付

何公債證書

何百圓

何銀行又ハ會社株券

何百圓

何銀行預リ金券

何百圓

通貨

何百圓

右入札金高ヲ以テ請負被命候ニ就テハ前記(公債證書 銀行 會社ノ株券)ヲ身元保證物トシテ御廳へ差出シ置キ 行ノ預リ金券)ヲ身元保證物トシテ御廳へ差出シ置キ 總テ入札請負御規則ニ遵ヒ別冊仕様書ノ通り來ル何 日著手日數何日間ニ無相違竣功可仕候萬一御規則ニ

年 月 日

請負人 何

某印

何區何町何番地

保證人 何

某印

「東京府知事」何某殿

●工事定請負規則明治二十二年七月二日 市告 第八號

工事定請負規則市會ノ議決ヲ經テ左ノ通之ヲ定ム

工事定請負規則

第一條 市費ニ屬スル工事中金額貳百圓以下ノモノハ 公ケノ入札ニ附セス定請負人ヲシテ之ヲ請負ハシメ

若クハ部分請負ヲ爲サシムルコトヲ得(三十年八月五日市告示第三十六號ヲ以テ)
本條改正

第二條 定請負ノ約期ハ滿二箇年以内トス

第三條 定請負期限中ハ身元保證物トシテ實價金五百圓ニ相當スル公債證書又ハ當應ノ指定スル銀行諸會社ノ株券ヲ當應ニ差出シ置キ諸工費ノ合金額五千圓ヲ超ルトキハ百圓毎ニ其十分ノ一ニ當ル増保證物ヲ工事施行ノ都度更ニ差出スヘシ

第四條 定請負人ハ當應ヨリ下付スル仕様書及圖面ニ基キ諸材料ノ代價並職工人夫ノ工數賃錢等ヲ詳細ニ積リ立指定ノ時限内ニ差出スヘシ

但直チニ施工ノ要點ヲ指示シタルトキハ定請負人ニ於テ仕様書及圖面ヲ調製シ積リ書ト併セテ差出スヘシ(三十年八月五日市告示第三十六號ヲ以テ本條改正)

第五條 定請負人ヨリ差出シタル工費積リ書仕様書等相當ト認ムルトキハ直チニ請負ヲ命シ指定ノ時限内ニ請書ヲ差出サシムヘシ若シ不相當ト認ムルトキハ之ヲ再按セシメ尙ホ適當ヲ得サレハ更ニ公ケノ入札ニ付スヘシ(三十年八月五日市告示第三十六號ヲ以テ本條改正)

第六條 前條請書ヲ差出シタル後ハ受負ノ罷免ヲ許サス若シ強テ之ヲ乞フトキハ定請負ヲ解キ施行中ニ係ル他ノ工事ヲモ總テ差止ムヘシ

第七條 諸工事ノ中臨時急施ヲ要シ第四條ノ手續ヲ履ムル迄ナキ場合又ハ其費額金拾圓未滿ニ屬スル工事ハ直ニ起工セシメ使用ノ材料代金並職工人夫ノ賃錢等ハ既約ノ定價ニ據テ之ヲ支拂フヘシ

第八條 諸工事ニ用ユル材料代價並諸職工人夫賃錢等ハ三箇月ヲ以テ一期トシ時價ニ基キ各一箇當リノ調

書ヲ差出サシメ審査ノ上相當ト認ムルトキハ一期内ノ定價ト爲ス若シ調査不相當ノ廉アルトキハ之ヲ再按セシメ尙適當ヲ得ルニ至ラサレハ其部分ハ公ノ入札ニ付シ若クハ他ノ者ヨリ直ニ購買スルコトアルヘシ

第九條 前條期限中ト雖モ時價二十分一以上ノ高低ヲ生シタルトキハ臨時更正スルモノトス此場合ニ於テ已ニ請書ヲ差出シタル諸工事ハ總テ已約中ノ定價ニ據ラシムヘシ

第十條 定請負人ハ其請負工事ニ付復請負ヲ爲サシムルコトヲ得ス(三十年八月五月市告示第三十六號ヲ以テ本條及次條追加以下順次條下ク)

第十一條 定請負人ニ於テ請書ヲ差出シタル後ト雖モ當應ノ都合ニ依リ工事ノ變更又ハ廢止ヲ要スルトキハ其請負ヲ解クコトアルヘシ此場合ニ於テ其既ニ起

工セシモノハ現在ノ出來形及場所ニ持込タル材料等ニ應シ當應ニ於テ相當ト認ムル金圓ヲ給スヘシ

第十二條 工事施行ニ方テハ左ノ検査規程ニ據リ其都度掛員へ届出検査ヲ受クヘシ

第十三條 各工事場ニハ定請負人ヨリ事業ニ熟達シタル手代ヲ差出シ諸事取締ヲ爲サシムヘシ若シ掛員ニ於テ人物不適當ナリト認メ引替ヲ命シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十四條 定請負人ハ常ニ道路修繕用ノ砂利ヲ當應命令ノ數量ニ從テ指定ノ砂利置場ニ準備スヘシ

前項ノ砂利ニシテ當應施行上必要アルトキハ定價ニ據リ之ヲ購買スルコトアルヘシ(三十年八月五日市告示第三十六號ヲ以テ本條改正)

第十五條 渾テ工費ハ其金額拾圓未滿ノモノハ一箇月毎ニ取經メ之ヲ支拂其金額拾圓以上五拾圓未滿ノモ

ノハ竣工後直ニ支拂五拾圓以上ニ出ルモノハ工事出来形二分ノ一ニ達シタルトキ右ニ相當スル金額ノ八割ヲ交付シ竣工ノ後其殘額ヲ支拂フヘシ

第十六條 工事出来形及材料ノ品質等所定ノ計畫ニ違フト認ムルトキハ日ヲ刻シテ改造又ハ引換ヲ爲サシム定請負人若シ之ヲ遵行セサルトキハ其工事ハ勿論施行中ニ係ル他ノ工事ヲモ總テ之ヲ差止メ併セテ定請負ヲ解クヘシ

第十七條 定請負人本規則ニ違背スルカ又ハ工事上不正ノ行爲アルカ若クハ手配不整頓ニシテ差支ヲ生スルコトアルトキハ前條ニ準シテ處分スヘシ(三十五年八月五日市告示第三十六號ヲ以テ本條改正)

第十八條 認許ヲ經スシテ起工若クハ竣工ノ期日ヲ遷延シ又ハ工事順序ノ期日ヲ誤リタルトキハ違約ニ付

生スル損害辨償トシテ一日ニ付其請負金高百分ノ一ノ割ヲ以テ遷延シタル日數ニ乘シ算出セル金額ヲ納メシムヘシ(三十五年八月五日市告示第三十六號ヲ以テ本條改正)

第十九條 工事竣工ノ後所定ノ後請合期日內ニ天災又ハ他ノ害ヲ受クルニアラスシテ損所ヲ生シタルトキハ定請負人ノ費用ヲ以テ之ヲ修繕スヘシ

第二十條 第六條第十四條第十五條ノ場合ニ於テ工事出来形所定ノ計畫ニ違ハサル分ハ當廳ニ於テ相當ト認ムル金額ヲ支拂フヘシト雖モ違約ノ爲メ特ニ當廳ニ損害ヲ受クルコトアレハ別段ニ之ヲ賠償セシムヘシ

第二十一條 違約ヨリ生スル辨償金及特別ノ賠償金ハ日ヲ刻シテ完納セシム若シ之ヲ怠ルトキハ豫テ預置シタル身元保證物ヲ公賣シテ之ニ充テ殘餘アレハ還

付シ不足ヲ生スルトキハ更ニ追徴スヘシ
 但違約ヨリ生スル賠償金ハ現ニ有形上ノ實害高金
 ニ拘ラス豫定金額ハ異議ナク完納スヘキモノトス
 別段ノ賠償ニ至リテハ其損害ヲ積算シテ納メシム
 ヘシ

工業検査規程

第一條 道路之部

- 第一 下地堀起
- 第二 是土性合及ヒ坪敷
- 第三 下地出來
- 第四 砂利性合及坪敷
- 第五 落成
- 以上

第二條 橋梁之部

- | | |
|--|--|
| <p>木橋</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一 木材性合寸間 第二 假橋架設出來 第三 杭木搖込 第四 梁桁掛渡 第五 釘諒鐵物貫目 第六 敷板張立 第七 高欄取建敷石 第八 道路但第一條道路規程ニ依フヘシ 第九 落成 | <p>石橋</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一 石類性合寸間 第二 締切取建水盛 |
|--|--|

- 第三 杭木打立
- 第四 算盤木及捨土臺
- 第五 根石築立
- 第六 下橋組立
- 第七 卷石卷立
- 第八 卷止ッ打込
- 第九 前後石垣築立但本條石垣規定ニ做フヘシ
- 第十 敷石下地及据付
- 第十一 高欄取建
- 第十二 前後道路但第一條道路規定ニ做フヘシ
- 第十三 落成
- 以上
- 石 塙
- 第一 締切取建水盛

- 第二 木材寸間
- 第三 杭木打立
- 第四 算盤木及捨土臺
- 第五 築石寸面割栗石砂利坪敷
- 第六 根石築立
- 第七 裏込石詰立
- 第八 落成
- 以上
- 第三條 水道之部
- 第一 木材性合寸間
- 第二 鉋削及ヒ矧目鋸摺合
- 第三 釘鯨ノ貫目
- 第四 樋掛出來形
- 第五 水盛

第六	樋伏込
第七	樋絞手掛仕舞
第八	掛ヨリ掛マテノ水掛
第九	落成
以上	
第四條 堤防之部	
川 凌	
第一	締切位置
第二	凌方出来形
第三	締切取拂跡
以上	
鋤簾川凌	
第一	凌揚土坪敷但實測セサル者ハ吏員ノ附切ヲ要ス
第二	落成

以上	
板 柵	
第一	木材寸間
第二	杭木打立
第三	板打立
第四	落成
以上	
濠沿及川口石牆	
第一	第二條石垣規程ニ依フヘシ
以上	
土 手	
第一	土性及ヒ坪敷
第二	芝張立
第三	落成

以上
草刈取
第一 一番刈取
第二 刈取出來形
第三 二番刈取
第四 刈取出來形
第五 三番刈取
第六 刈取出來形
漆中掃除
第一 若手
第二 落成
第五條 營繕之部
住居家屋
第一 地形水盛

以上
第十四 落成
第十三 間内造作仕口但第十項ニ付フヘシ
第十二 瓦下地及葺立
第十一 壁塗立遍敷
第十 壁並羽目及渾テ見隠レノ箇所
第九 床下地及張立
第八 屋根下地及葺立
第七 建方曲否
第六 小屋組土臺
第五 割栗石及側石
第四 算盤木及捨土臺
第三 根切及杭打
第二 木材寸間

土藏

- 第一 地形水盛以下床張立迄順序ハ住居家屋第一項ヨリ第九項迄ニ做ラヘシ
- 第二 壁下地荒打ヨリ上塗迄ノ遍數
- 第三 瓦葺立
- 第四 落成

以上

煉瓦家屋

- 第一 地形水盛以下床張立迄順序ハ住居家屋第一項ヨリ第九項迄ニ做ラヘシ
- 第二 煉化性合及モルタル調合
- 第三 壁塗立遍數
- 第四 瓦下地及葺立
- 第五 落成

以上

石造家屋

- 第一 地形水盛以下床張立迄順序ハ住居家屋第一項ヨリ第九項迄ニ做ラヘシ
- 第二 木材石性寸間
- 第三 瓦下地及葺立
- 第四 落成

以上

丸太矢來裏板打

- 第一 木材性合寸間
- 第二 丸太柵取建
- 第三 裏板釘
- 第四 落成

以上

吹抜丸太矢來

- 第一 木材性合寸間以下ハ前丸太矢來ニ做ラヘシ
- 以上

人止柵

第一 木材寸間以下ハ前ニ做フヘシ
以上

第六條 下水之部

石造下水

第一 木材寸間及石柱

第二 石垣下地形

第三 根石築立

第四 落成

以上

木造

第一 木材寸間以下前ニ做フヘシ

同下水浚方

第一 浚方出來及土坪敷

第二 落成

●市費支辨ノ工事金額貳百圓以上ノモノ便宜施行
市費支辨ノ工事金額貳百圓以上ノモノニシテ市參事會
ニ於テ必要ト認ムル場合ハ便宜當業者五名以上ノ指名
入札ニ付シ又ハ隨意契約ヲ以テ施行スルコトヲ得
但請負契約ニ關スル總テノ條件ハ工事入札請負規則
ニ據ル

金額貳百圓以下ノ工事ニシテ定請負人ノ見積不適當ト
認ムル場合モ亦前項ニ據ル

●土木工事請負人特定
土木工事ニシテ再度公ケノ入札ニ附スルモ其價格豫算
額ヲ超過スルトキハ特ニ其專業者五名以上ヲ指名シ積
書ヲ徵シ豫算以内ニシテ不相當ナキトキハ其低額ノ者

ニ請負ヲ命スルモノトス

●美術ニ關シ其他方法緻密ヲ要スル土木工事指

名入札施行方明治二十三年十月二十八日
市會議決第五十七號

土木工事ノ内鐵橋架設及水道(二十五年九月二十六日市會議決第七十一號ヲ以テ「水道」ノニ)下水改良工事ノ類ニシテ其方法緻密ヲ要スルトキ又ハ美術ニ關スルモノハ公ケノ入札ニ附セス其事業者及身元確實ニシテ工事又ハ物品ノ供給ニ經驗アルモノ若干名ヲ指名シ入札セシムルコトヲ得

但此場合ニ於テ施行方法ハ入札保證金ヲ徵セス工事入札請負規則ノ旨趣ニ準據シ別ニ命令書ヲ下附シ請書ヲ徵スルコトアルヘシ

●工事入札請負資格證明方明治二十六年十月二十日
市訓令第百七十七號

區 役 所

東京市告示第六十號工事入札請負規則改正條項中二箇

年以來所得稅ヲ納メ及土木事業ニ從事シタルモノトアルハ二箇年以來所得稅ノ毎納期ニ於テ既ニ之ヲ納メ及二箇年以來土木事業ニ從事シタルノ實アル者ニ限リタル趣旨ニ有之候條會テ届洩等ノ事由ニ因リ前二箇年ニ遡リ所得稅及土木事業ニ從事シタル廉ヲ以テ營業稅ヲ此際一時ニ上納シタルモノノ如キハ合有セサル義ニ付證印ヲ與ヘ候際一層注意ヲ加フヘシ

但既ニ證印ヲ與ヘタルモノノ内本文ニ抵觸セシモノアルトキハ其氏名等申出ヘシ

●工事入札請負資格證明後失格通知方

明治二十六年十一月二十八日
市訓令第百七十八號

工事入札請負規則ノ條項ニ據リ入札人ヨリ當廳ヘ差出候資格證明書ニ證印ヲ被與候後其資格ヲ失フモノ有之候ハハ其都度御通知相成度此段及御照會候也

● 商會社ノ工事入札請負資格證明方

明治三十六年十二月十四日
市訓令第四百七十七號

區役所(京橋區)

工事入札請負規則ニ據リ商會社ヨリ資格證明書ニ證
印ヲ乞ヒタルトキハ其會社ハ二箇年以上土木事業ニ從
事シ會社ノ代表者タル社長ニ於テ不動産ヲ有シ二箇年
以上所得稅ヲ納メ信用スヘキモノハ證印ヲ與フヘシ

● 請負保證金圓位以下切捨方

明治三十二年二月二十四日市參事會
議決 第三千九百六十八號

工事請負及物品供給ノ保證金トシテ圓位以下ノ端數マ
テモ徵收スルハ整理上徒ニ手數ヲ要スルノミニシテ實
際ニ於テ効用ナク工事入札規則第五條及第十三條ニ請
負金高ノ壹割五分若クハ五分ヲ保證金トシテ差出スヘ
シト規定シアルモ右ハ全ク保證金ノ標準ヲ示シタルニ

止マレハ爾後保證金ヲ徵收スルニ當リ該標準ニ依リ算
出シ圓位以下ノ端數ヲ生スルトキハ之ヲ切捨テ總テ圓
位ニ止メ徵收スルモノトス

● 區土木工事定請負人選定方

明治二十二年七月二十九日
市訓令第四百二十二號

區 役 所

其區ニ於テ執行スル土木工事定請負人ハ二組以上ヲ選
定シ置工事ノ都度各別ニ積書ヲ差出サセ相當ト認ムル
モノヘ請負ヲ命スヘシ

● 區土木工事定請負人選定何出方

明治二十二年八月二日
市訓令第四百十六號

區 役 所

其區ニ於テ執行スル土木工事定請負人選定之節ハ命令
書下附以前其住所姓名等ヲ記シ何出ノ上命スル義ト心

得ヘシ

●地先下水横切下水工事用材現場持込済通知方

明治二十八年四月八日書記官通達
内二發第千二百六十四號區長宛

是迄地先下水及其線路ニ係ル横切下水新設又ハ改造工事著手之節ハ其都度御上申有之候處尙其所用ノ工材ニ於テモ検査ヲ要スル場合モ有之候條將來右工事用材現場へ持込済之節ハ更ニ御通知相成度此段及御通達候也

●各戸地先下水相當ノ水吐口取設方

明治二十九年七月四日書記官照會
内二發第千九百十八號區長宛

各戸地先下水蓋ハ路上雨水吐ノ關係不掛ニ付自今之カ架設改造出願ノモノハ勿論修繕ニ係ルモノト雖モ其構造方ニ依リテハ相當ノ水吐口取設ケ候條御指揮相成度依命此段申入候也

●水道改良鐵管布設及在來水道樋布設跡道路修

繕方明治二十九年九月五日市參事會議
第一萬四千四百一十號

水道改良鐵管布設跡道路修繕ノ義從來鐵管埋布ニ係ル根伐巾跡ノミ修繕ヲ施シ來リタル處其實鐵管埋布ノ湖リ根伐土ヲ其左右へ堆積スルヲ以テ路面ノ雨水ヲ停滯セシメ之カ爲ニ道路ニ破損ヲ生スル事甚敷且在來ノ水道樋本線枝線共布設跡ノ修復ハ前同様ノ仕方ニ付爾後ハ水道改良事務所ニ於テ左記之通り修繕ヲ施行スルモノトス

- 一水管布設ニ付根伐之節ハ衣土厚三寸乃至四五寸通りノ根伐土ハ別ニ取除ケ置キ水管埋布跡埋立ノ最上部道路面へ敷均シ致スヘキ事
- 一水管布設跡ハ充分撞堅メ路面ヨリ高カラサル様左右道路へ取合セ能ク修理致スヘキ事
- 一水管布設後二十日間内ニ砂利敷均シ致スヘキ事

但消防用柵等設置モ本文ニ準ス

一 砂利敷均シ幅員ハ地質ノ堅軟ニ依リ根伐巾ノ一倍半若クハ二倍トシ其厚ハ一寸乃至一寸五分トス

但在來ノ水道樋木線枝線共工事跡ハ本文ニ準ス

一 砂利ハ八分目篩ヨリ大ナルモノヲ用ヒサル事

一 砂利敷均シ後ト雖モ水管布設跡ニ落込ヲ生シタル時ハ速カニ修繕ヲ加フル事

一 殘土ハ跡埋出來次第速カニ取片付致スヘキ事

一 消防用柵等ハ路面ト平坦ニ設置致スヘキ事

但已ムヲ得ス路面ヨリ高低ヲ付セサルヲ得サル場合ニ於テハ土木掛員ト立會協議ヲ要スルモノトス

一 水道布設後路面ニ顯出セシ石及瓦礫等ハ速カニ掻キ集メ取片付致スヘキ事

一 消防用柵設置後ニ於テ道路ニ高低ヲ付スルノ必要ヲ

生シタル場合ニ臨テハ消防用柵ノ上ケ下ケハ道路修繕費ヲ以テ支辨修理スルモノトス

但消防用柵上ケ下ケノ修理ヲ要スルトキハ土木掛員ト水道改良事務所員ト立會協議スルモノトス

● 道路及公有水面使用願書警察署ニ協議差出方

明治三十三年十月十九日
市訓令甲第五十四號

區 役 所

道路及公有水面使用願者アルトキハ一ケ年以内ニ係ルモノニ限リ其區ヨリ所轄警察署ニ協議ノ上支障ノ有無添書シ願書廻送スヘシ

但本訓令ハ明治三十三年十一月一日ヨリ施行ス

● 市費負擔道路堤防下水ニ係ル諸願差出方

明治二十四年八月十二日
市告示第三十二號

市費負擔ノ道路堤防下水ニ係ル左ノ諸件ハ當座へ願出

テ許可ヲ受クヘシ

- 一 道路堤防、並木ヲ修理セントスルモノ
- 二 地下水ヲ改造修理シ又ハ蓋ヲ設ケ橋ヲ架セントスルモノ
- 三 樹木ヲ植ヘ又ハ之ヲ除去セントスルモノ
- 四 井戸、井戸流シ、目塗土置場ヲ設ケ又ハ之ヲ改造シ若クハ廢除セントスルモノ
- 五 火ノ番小屋、火ノ見階子、消防具置場ヲ建設シ又ハ之ヲ改造セントスルモノ
- 六 床店、葎管、張廣告札(ニケルモ)以上(ルモ)看板、日除街燈(柱ニ支ルモ)電線柱、柵欄、齒止石、紀念碑、標識、榜示、指道標ヲ建設シ又ハ之ヲ改造セントスルモノ
- 七 瓦斯管、入樋其他地中埋布管ヲ敷設シ又ハ之ヲ改造シ若クハ除去セントスルモノ

但瓦斯枝管ニシテ道路ヲ横切リ布設シ若クハ之ヲ撤去スルモノニ限リ若手三日以前ニ仕様書並圖面ヲ添ヘ當廳へ届出落成ノ上検査ヲ受クヘシ(二十九年五月十六日市告示第二十號ヲ以テ但書追加)

第六類 市有地

●洲崎辨天町、檜本町、地所貸渡規則

明治二十二年八月二日
市告示第二十八號

市基本財産所屬地貸渡規則市會ノ議決ヲ經左ノ通之ヲ定ム

洲崎辨天町地所貸渡規則

第一條 洲崎辨天町ヲ貸渡スヘキ者ハ貸座敷引手茶屋及ヒ之ニ關係アル職業ヲ營ム者ニ限ルヘシ

但同町二町目ハ本文營業外ノ者ト雖モ貸渡スコトアルヘシ(二十八年一月十七日市告示第三號ヲ以テ但書追加)

第二條 地所ヲ借用セントスル者ハ其地ノ位置地坪建坪ヲ記シ保證人連署ヲ以テ當廳ヘ願出テ許可ヲ受クヘシ

但保證人ハ當市内ニ居住シ及土地又ハ家屋ヲ所有スル者ニ限ル

第三條 保證人死亡シ又ハ第二條ニ定メタル資格ヲ失ヒタルトキハ借地人ハ別ニ保證人ヲ立テ當廳ニ届出ヘシ

第四條 家屋建築セントスル者ハ左ノ制限ニ遵フヘシ

一 本家ハ道路敷ヨリ三尺以上引去建築シ庇ハ借地外ニ出スヘカラス

一 二十間幅ノ道路ニ傍ヒタル家屋ハ軒下二丈一尺以上六間幅以上ノ道路ニ傍ヒタル家屋ハ一丈八尺以上タルヘシ

一 家屋ハ總テ不燃質ノ材料ヲ以テ屋上ヲ修葺スヘシ

一 煙筒ハ石瓦等總テ不燃質ノ材料ヲ以テ築造スヘシ

第五條 借地内ニ路次ヲ設ケントスルトキハ當廳ニ願

出テ許可ヲ受クヘシ

第六條 家屋ノ建築ハ借地許可後三箇月以内ニ著手スヘシ

但期限内著手シ難キ事故アルトキハ當處へ願出テ許可ヲ受クヘシ

第七條 家屋ノ建築及増築ハ當處へ届出検査ヲ受クヘシ

第八條 借地ノ許可ヲ受ケタル者ハ其地ヲ他ニ轉貸スヘカラス

第九條 家屋ヲ建築シ他人ニ貸與スルハ妨ナシト雖モ

第一條ニ掲クル營業者ニ限ルヘシ

第十條 返地セントスルトキハ其旨ヲ當處へ届出ノ上建物ヲ取毀チ地所ヲ元形ニ復シ實地検査ヲ受ケ然ル後返地スヘキモノトス

但借地換ノ場合ハ此限ニアラス

第十一條 借地ノ期限ハ十箇年トス滿期ニ至リ繼續セントスルトキハ當處ニ於テ必要アルニアラサレハ前借地人ニ貸渡スヘキ者トス借地料ハ當處ノ見込ヲ以テ三箇年毎ニ之ヲ増減スコトアルヘシ

第十二條 借地料ハ當處ニ於テ別ニ定ムル所ニ從ヒ毎月二十日ヨリ二十八日迄ニ其月分ヲ納ムヘシ

第十三條 十五日以前ニ借地ノ許可ヲ受ケタル者及十六日以後返地シタル者ハ其借地料一箇月分十六日以後借地ノ許可ヲ受ケタル者及十五日以前ニ返地シタルモノハ半ケ月分ヲ納ムヘシ

第十四條 此規則第三條第四條第五條第七條第八條第九條第十二條ニ違背シタルトキハ返地ヲ命スルコトアルヘシ

但此場合ニ於テハ日限ヲ定メテ第十條ノ手續ニ據
リ返地セシムヘシ

橋本町、錦町、ノ内市有地所貸渡規則(二十五年四月二十五日)
本郷本富士町、市告示第二十二號ヲ以テ(錦町)ノ
次三本郷本富士町)ノ六字ヲ加フ)

第一條 地所ヲ借用セントスル者ハ其地ノ位置地坪ヲ
記シ保證人連署ヲ以テ當廳ヘ願出許可ヲ受クヘシ
但保證人ハ當市内ニ居住シ及土地又ハ家屋ヲ所有
スル者ニ限ル

第二條 保證人死亡シ又ハ第一條ニ定メタル資格ヲ失
ヒタルトキハ借地人ハ別ニ保證人ヲ立テ當廳ニ届出
ツヘシ

第三條 地所借用中ハ其地ヲ他ニ轉貸スヘカラス

第四條 返地セントスルトキハ其旨ヲ當廳ヘ届出建物
取毀チノ上質地検査ヲ受ケ然ル後返地スヘシ

但借地換ノ場合ハ此限ニアラス

第五條 地所貸渡中當廳ニ於テ必要アルトキハ石造煉
化造土藏造ノ家屋建築ノ者ヘハ五箇年以前ニ其他ノ
家屋建築ノ者ヘハ二箇年以前ニ家屋建築セサル者ヘ
ハ六箇月以前ニ其旨ヲ達スヘキニ付此場合ニ於テハ
第四條ノ手續ニ依リ返地スヘシ

第六條 借地料ハ土地ノ狀況ニ隨ヒ増減スルコトアル
ヘシ

第七條 借地料ハ毎月二十八日限リ其月分ヲ納付スヘ
シ

但端日數アルトキハ其月現日數ニヨリ日割ヲ以テ
計算スルモノトス

第八條 第二條第三條第六條及第七條ニ違背シタルト
キハ返地ヲ命スルコトアルヘシ

但此場合ニ於テハ日限ヲ定メ第四條ノ手續ニ據リ返地セシムヘシ

● 河岸地貸渡規則 明治二十三年九月十六日 市告 第六十一號

東京市基本財産河岸地貸渡規則 會ノ議決ヲ經テ左ノ如ク之ヲ定ム

東京市基本財産河岸地貸渡規則

第一條 河岸地ヲ借用セントスル者ハ其使用方法ヲ掲ケ圖面ヲ添ヘ保證人連署ノ上區長ノ與印ヲ受ケ當廳ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

但保證人ハ當市内ニ居住シ及當市内ニ於テ土地又ハ家屋ヲ所有スル者ニ限ル

第二條 河岸地貸渡ノ年限ハ石造煉化石造土藏造ノ家屋ヲ建築スル者ハ三十箇年其他ノ家屋ヲ建築スル者ハ十箇年家屋ヲ建築セサル者ハ三箇年市區改正道路

河川ノ敷地タル可キ場所ヲ借用スル者ハ一箇年トス但家屋建築ノ爲メ借用シ十二箇月ヲ經テ建築ニ著手セサル者ハ許可ノ効ヲ失フモノトス

第三條 一筆ノ河岸地内ニ石造煉化石造土藏造ノ家屋ト木造ノ家屋トヲ建築シ地形區分シ難キ者ハ其建坪ヲ比較シ坪數ノ多キ方ニ由リ前條ノ年限ヲ定ムヘシ

第四條 河岸地ハ他人ニ轉貸ヲ爲ス可カラズ但家屋ヲ建築シ其地ヲ併セテ貸渡シ又ハ空地ノ一部分ヲ一時物置塙等ニ貸渡スハ妨ケナシ

第五條 借用滿期ノ後引續キ借用セントスル者ハ其期限六箇月以前ニ更ニ第一條ノ手續ヲ以テ當廳ノ許可ヲ受ク可シ

第六條 河岸地借用期限内ニ其地ヲ返納シ又ハ其使用方法ヲ變更セントスルトキハ保證人連署ノ上區長ノ

與印ヲ受ケ當廳ノ許可ヲ受クヘシ

第七條 左ニ記載ノ場合ニ於テハ保證人連署ノ上區長ノ與印ヲ受ケ當廳ニ届出可シ

一 河岸地借用人死亡又ハ退隱等ニ由リ家督相續人ニ於テ其期限内引續借用スルトキ

一 保證人ヲ換ヘタルトキ

一 改氏名及轉居ノトキ

第八條 河岸地地料ノ額ハ借用年限十箇年以上ノ者ニ限リ五箇年ヲ經ル毎ニ土地ノ狀況ニ因リ之ヲ増減スルコトアルヘシ

第九條 河岸地地料ハ十五日以前ニ借用ノ許可ヲ受ケタル者及十六日以後ニ返地シタル者ハ一箇月分十六日以後ニ借用ノ許可ヲ受ケタル者及十五日以前ニ返地シタル者ハ半箇月分ヲ納ムヘシ

第十條 河岸地地料ハ毎月二十八日限リ區役所ニ納ム可シ

但本人不在等ノ節ハ保證人ニ於テ本人ニ代リ辨納スヘシ

第十一條 河岸地借用人其區内ニ居住セサルトキハ其區内ニ居住スル代理人ヲ置キ區役所ニ届出テ其地ニ關スル事件ヲ代理セシム可シ

第十二條 河岸地使用ノ都合ニ依リ自費ヲ以テ岸及地盤ヲ變更ス可キ工事ヲ施サントスルトキハ仕様明細書ニ着手ノ期日ヲ記シ區長ノ與印ヲ受ケ當廳ニ願出テ許可ヲ受ケ工事落成ノ上ハ届出テ検査ヲ受ク可シ若シ仕様ニ違ヒ其地ニ害アリト認ムルトキハ日ヲ期シテ改造セシムヘシ

但其工事ニ由リ變更シタル岸及地盤ハ返地ノ際原

形ニ復セシムルコトアル可シ

第十三條 河岸地ニ家屋ヲ建築スル者ハ不燃質物ヲ以テ屋上ヲ葺ク可シ又物置場ト爲ス者ハ使用地ノ道路ニ接シタル場所ニ垣柵ヲ設ク可シ

第十四條 河岸ノ草取掃除ヲ爲スハ勿論其物置場空地等ハ常ニ清潔ナラシム可シ

第十五條 此規則ニ違背シ差置難シト認ムル者ハ期限内ト雖モ返地セシムルコトアル可シ此場合ニ於テハ自費ヲ以テ自己ノ建造物等ヲ取除ク可シ

附 則

第十六條 明治二十一年十二月三十一日以前ニ貸渡シタル河岸地ニシテ滿期ニ至リ引續キ借用願出ル者及其地ニ在ル建物ヲ所有スル者借用願出ルトキハ改正ノ規則及地料ヲ以テ貸渡スモノトス

第十七條 借用人ナク又ハ建物ナキ河岸地ヲ貸渡サントスルトキハ公ノ入札ニ付シ貸渡スモノトス

第十八條 河岸地ハ轉貸ヲ許サスト雖モ明治二十一年十二月三十一日以前ニ許可シタル者ニシテ其地ニ轉借人ノ建物等アルトキハ轉貸ヲ許可スルコトアル可シ

第十九條 明治二十一年十二月三十一日以前ニ貸渡シタル河岸地ニシテ期限内据置ク者ハ護岸ノ修築地先道路ノ撒水除雪地先下水ノ修築及浚渫等ノ負擔ハ從前ノ通りタル可シ

但改正ノ規則及地料ヲ以テ貸渡シタル者ハ借用人ヲシテ負擔セシメサルモノトス此場合ト雖モ護岸修築ノ爲メ所在ノ建物ヲ保護スルハ借用人ノ負擔タル可シ

●月島新佃島地所貸渡規則

明治二十五年十二月二十六日
市告示第六十、四號

月島新佃島地所貸渡規則市會ノ議決ヲ經左ノ通之ヲ定ム

月島新佃島地所貸渡規則(二十九年九月三十日市告示第七號ヲ以テ「月島」ノ下「新佃島」ノ三字ヲ加テ)

第一條 地所ヲ借用セントスル者ハ其地ノ位置地坪借地料等ヲ記シ保證人連署シ區長ノ與印ヲ受ケ當處へ願出テ許可ヲ受クヘシ

但保證人ハ當市内ニ居住シ及土地又ハ家屋ヲ所有スル者ニ限ル

望人二名以上アルトキハ競貸ト爲シ其入札地料ノ高キ者ニ貸渡スヘシ

第二條 保證人死亡シ又ハ第一條ニ定メタル資格ヲ失

ヒタルトキハ借地人ハ別ニ保證人ヲ立テ當處ニ届出ツヘシ

第三條 家屋ヲ建築セントスル者ハ左ノ制限ニ遵フヘシ

一初メテ家屋ヲ建築スルトキハ一尺以上ノ盛土ヲ爲スヘシ既ニ隣地ニ於テ之ヲ爲シタル場合ニ於テハ高低ナキ様注意スヘシ

但西河岸通一丁目乃至三丁目同四丁目一番地乃至四番地西中通一丁目二番地四番地六番地八番地同二丁目二番地四番地六番地乃至十二番地同三丁目同四丁目一番地乃至四番地及新佃島西町一丁目二番地乃至十九番地二十二番地二十三番地同二丁目十番地乃至十五番地二十三番地二十四番地ハ此限ニアラス(二十九年九月二十六日市告示第三十七號ヲ以テ但書改正)

二本家ハ道敷ヨリ三尺以上ヲ引去リ建築シ庇ハ借地外ニ出スヘカラス

第四條 借地内ニ路次ヲ設ケ又ハ地盤ヲ變更スヘキ工事ヲ施サントスル者ハ當廳ニ願出テ許可ヲ受クヘシ其著手及ヒ竣功ノトキハ區長ニ届出テ検査ヲ受クヘシ

第五條 借地ハ他ニ轉貸スヘカラス

第六條 返地セントスル者ハ其旨ヲ當廳ニ届出テ建物ヲ取毀チ地所ヲ元形ニ復シ實地検査ヲ受ケ然ル後返地スヘシ

但借地換ノ場合ハ此限ニアラス

第七條 借地ノ期限ハ十箇年トス

但初期ハ借地許可ノ年月日ニ拘ハラヌ明治三十五年十二月三十一日ヲ以テ滿期トス

第八條 借地滿期ニ至リ當廳ニ於テ必要アルニアラザレハ前借地人ニ貸渡スヘキモノトス

第九條 借地料ハ毎月二十日ヨリ二十八日マテニ其月分ヲ納ムヘシ

第十條 十五日以前ニ借地ノ許可ヲ受ケタル者及十六日以後返地シタル者ハ其借地料一箇月分十六日以後借地ノ許可ヲ受ケタル者及十五日以前ニ返地シタル者ハ半箇月分ヲ納ムヘシ

第十一條 借地料ハ當廳ノ見込ヲ以テ五箇年毎ニ之ヲ増減スルコトアルヘシ

第十二條 此規則第二條第三條第四條第五條第九條ニ違背シタル者ハ返地ヲ命スルコトアルヘシ

但此場合ニ於テハ日限ヲ定メテ第六條ノ手續ニ據リ返地セシムルモノトス

●市有地貸渡入札規則明治三十三年九月十六日市告示第六十三號
 市有地貸渡入札規則市會ノ議決ヲ經テ左ノ如ク之ヲ定ム

市有地貸渡入札規則

第一條 市有地ヲ借用セントスル者ハ入札ニ其地名坪數一坪一箇月ノ借地料及住所氏名ヲ記シ調印ノ上封緘シテ豫定ノ日時迄ニ之ヲ當廳ニ差出スヘシ

第二條 入札ハ入札保證金ヲ納ムルニ非ラサレハ之ヲ爲スコトヲ得ス其金額ハ隨時之ヲ定ムルモノトス(十七年七月五日市告示第四十四號ヲ以テ本條中改正)

入札保證金ハ入札ニ添ヘ差出ス可シ
 入札保證金ハ開札ノ後直チニ返付ス
 但落札シタルモノニハ借地許可ノ後ニ非ラサレハ

之ヲ返付セサルモノトス

第三條 開札ハ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ行ヒ金額最高キ者ニ落札ヲ命スルモノトス
 最高額ノ者ト雖モ其金額不相當ト認ムルトキハ落札ヲ命セサルコトアルヘシ

入札人一人ニ止マルトキト雖モ其金額相當ト認ムルトキハ落札ヲ命スルコトアル可シ
 最高額ノ者二人以上同一ノ金額ナルトキハ其者ニ限リ再ヒ入札ヲ爲サシムルモノトス

第四條 落札ヲ命シタルトキハ貸渡規則ニ依リ願書ヲ五日以内ニ差出ス可シ此期日以内ニ願書ヲ差出ササル者ハ其落札ヲ無効トス

第五條 開札ノ後入札ノ取消ヲ請ヒ又ハ第四條ヲ履行セサル者ハ入札保證金ヲ以テ違約ニ係ル損害ノ辨償

金ニ充テ之ヲ返付セサル可シ

第六條 落札無効ト爲リ又ハ落札ヲ取消シタルトキハ
其次札ノ者ニ落札ヲ命スルコトアル可シ

●市基本財産所屬地入札ニ附セズ貸渡方

明治二十二年七月二
十六日市會議決第四十號

東京市基本財産所屬地ヲ貸渡ストキ左ノ場合ニ限リ公
ケノ入札ニ附セサルモノトス

一 一宅地ヲナスニ足ラサル地ヲ接續地ノ借地人ニ於
テ借用セントスルトキ

二 借地内ニアル建物ヲ買受ケ又ハ讓受ケタル者其地
ヲ借用セントスルトキ

三 借地換出願ニ依リ後借地人ニ貸渡ストキ

四 洲崎辨天町ノ内貸座敷及引手茶屋ニ限リ貸渡スハ
キ場所ヲ貸渡ストキ

但出願者二名以上アルトキハ其者ヲシテ入札セ
シムルモノトス

●市有地貸與方法變更方明治二十四年七月九日
市會議決第四十八號

洲崎辨天町ハ貸座敷引手茶屋及之ニ關係アル職業ヲ營
ム者ニ貸與スヘキ規則ナリシ處二丁目ハ築造竣工後既
ニ一年餘ヲ經ルモ借地ヲ望ム者少ク偶借用スル者アル
モ家屋ヲ建設セスシテ返地スル者多ク目下ノ狀況ニテ
ハ貸與方法ヲ變更スルニアラサレハ到底全地ヲ貸與シ
了ルヘキ見込之ナク仍テ爾後其關係アル職業ヲ營ム者
ニハ入札ニ付セス豫定地料ヲ以テ貸與スルモノトス

●市有地無料一時貸渡方明治二十三年八月十六日
市會議決第三十三號

本市基本財産所屬地ノ内借用人未定ノ間一時ノ使用ヲ
願出ツル者アルトキハ定規ノ地料ニ據ラスシテ市參事
會限リ便宜許可スルコトヲ得ルモノトス

●洲崎辨天町事務所設置
明治二十二年十月三十日
市訓令第百三十三號
深川區役所

洲崎辨天町事務所ハ深川區役所内ニ設置ス
右借地人ニ告知ス可シ

●洲崎辨天町事務規程
明治二十二年十月十八日
市訓令第百九十四號
深川區役所

洲崎辨天町事務規程ヲ定ムルコト左ノ如シ

洲崎辨天町事務規程

- 第一條 區長ハ左ノ事項ヲ掌理ス
- 一 事務掛ヲ監督シ其進退ヲ當廳ニ具狀スル事
- 二 借地料及雜入金ヲ徵收スル事
- 三 借地料及雜入金滯納者ヲ處分スル事
- 但 貸渡規則第十四條ノ場合ハ此限ニ非ス
- 四 事務所ノ經費ヲ請求スル事

五 小使ヲ進退シ及豫算定額内ニ於テ人夫ヲ雇フ事

但 小使ノ進退ハ其時時當廳ニ報告スヘシ

六 其他當廳ノ命令シタル事項ヲ掌理スル事

第二條 事務掛ハ左ノ事項ヲ掌理ス

- 一 市有地内ヲ巡視スル事
- 二 借地ニ關スル願届ヲ調査シ及其願届ニ加印スル事
- 三 借地料及雜入金ヲ取纏ムル事
- 四 明治十九年内務省令第十九號第六條第七條ニ依リ
寄留届ヲ爲ス事
- 五 小使ヲ監督シ其進退ヲ區長ニ具狀スル事
- 六 其他當廳ノ命令若クハ區長ノ指揮シタル事項ヲ處
理スル事

●洲崎辨天町事務所處務細則

明治二十二年十一月二十七日
市訓令第百一十一號

深川 區役所

洲崎辨天町事務所處務細則ヲ定ムル左ノ如シ

洲崎辨天町事務所處務細則

第一條 當廳ヨリ市有地ニ關スル命令ヲ發シタルトキハ遺漏ナク借地人ニ傳達スヘシ

但緊急ヲ要スルモノハ使丁ヲシテ回達セシムヘシ

第二條 借地人等ニ於テ貸渡規則及市有地ニ關スル諸命令ニ背クコトナキヤ否ヲ注意シ若シ違犯者アルト

キハ區長ヲ經テ當廳ニ具申スヘシ

第三條 借地ニ關スル願届ヲ出シタルトキハ貸渡規則

市有地原簿地圖等ニ照シ不都合ナキニ於テハ其願届

ニ加印シ區長ノ與印ヲ受クヘシ

第四條 前條不都合ナル書面アルトキハ説諭ノ上改竄

セシムルハ妨ケナシト雖モ若シ之ヲ肯セサルトキハ

意見ヲ附シ進達ノ手續ヲ爲スヘシ是カ爲メ其願届ヲ壅塞スルコトヲ得ス

第五條 第三條ノ願届ニ對シ指令ヲ付シタルトキハ市有地原簿地圖等ニ其要旨ヲ記載シ區長ノ閱覽ニ供シテ後本人ニ傳達スヘシ

第六條 借地料及下掃除料其他雜收入ハ歲入歲出出納規則ニ據リ取纏メノ手續ヲ爲ス可シ

第七條 前條ノ收入金ヲ納メサル者アルトキハ事務所ニ呼出シ又ハ怠納者ニ就キ督促ヲ爲シ取纏方ニ注意スヘシ

第八條 現住戶籍簿ヲ製シ置キ本籍寄留ヲ別チ生死出入ヲ加除ス可シ

第九條 市有地内ニ寄留シタル者アルトキハ深川區長及本籍地市町村長又ハ區長ニ届出テ寄留地ヲ去ル者

アルトキハ深川區長ニ届出テ而シテ現佳戸籍簿ヲ加除ス可シ

第十條 日日一度市有地ヲ巡回シ異常ナキヤ否ヲ視察シ其狀況ヲ區長ニ申告ス可シ
但暴風雨等アリタルトキハ定限ニ拘ハラヌ巡視スヘシ

第十一條 市有地内ニ失火アルトキハ速ニ派出シ不取締之ナキ様注意ス可シ

第十二條 堤塘道路橋梁溝渠便所並木等總テ外部ノ構造ニ係ルモノノ毀損シタルトキハ區長ヲ經テ當廳ヘ具申スヘシ

第十三條 簿書ニ記載スヘキ事項アルトキ又ハ簿書上變更ス可キ事項アルトキハ速ニ加除添削シ錯雜セザル様注意スヘシ

● 月島及新佃島事務所設置
明治三十四年四月十七日告示第三十七號
月島及新佃島事務所ヲ京橋區月島西仲通一丁目二番地一號ニ設置ス

● 月島新佃島市有地事務規程
明治三十九年四月十六日市訓令甲第五號

京橋區役所

月島新佃島市有地事務規程ヲ定ムルコト左ノ如シ(二十年九月二十六日市訓令甲第十號ヲ以テ(月島)ノ下(新佃島)ノ三字ヲ加フ)

月島新佃島市有地事務規程

- 第一條 左ノ事項ハ區長ヲシテ掌理セシム
 - 一 事務掛ヲ監督スル事(三十四年四月十七日市訓令甲第二十七號ヲ以テ本項改正)
 - 二 借地料及移入金ヲ徴收スル事
 - 三 其他當廳ノ命令シタル事項ヲ掌理スル事

第二條 區長ハ事務掛ヲシテ左ノ事項ヲ執行セシム(十三)

四年四月十七日市訓令甲第二十六號ヲ以テ差配人ヲ事務掛ト改メ

一 市有地内ヲ巡視スル事

二 借地ニ關スル願届ヲ調査シ及其願届ニ加印スル事

三 借地料及雜入金ノ滯納者ヲ督促スル事

四 戸籍簿ヲ調製シ居住人ノ出生死亡出入等ヲ詳カニスル事

五 明治十九年内務省令第十九號第六條第七條ニ依リ

出入寄留届ヲ爲ス事

六 其他區長ノ指揮シタル事項ヲ處理スル事

● 月島及新佃島事務所處務所細則

明治三十四年四月十七日市訓令甲第二十七號

京橋區役所

月島及新佃島事務所

月島及新佃島事務所處務細則ヲ定ムルコト左ノ如シ

月島及新佃島事務所處務細則

第一條 當應ヨリ市有地ニ關スル命令ヲ發シタルトキハ遺漏ナク借地人ニ傳達スヘシ

但緊急ヲ要スルモノハ使丁ヲシテ回達セシム可シ

第二條 借地人等ニ於テ貸渡規則及市有地ニ關スル命令ニ背クコトナキヤ否ヲ注意シ若シ違背者アルトキ

ハ速ニ當廳ニ申告ス可シ

第三條 借地人等ヨリ願届ヲ出シタルトキハ其願届ニ加印ス可シ

第四條 前條不都合ナル書面アルトキハ説諭ノ上改竄

モシムルハ妨ケナシト雖モ若シ之ヲ肯セサルトキハ

意見ヲ付シ進達ノ手續ヲ爲ス可シ是カ爲メ其願届ヲ塞塞スルコトヲ得ス

第五條 第三條ノ願届ニ對シ指令ノ傳達ヲ受タルトキハ市有地臺帳圖面等ニ其要旨ヲ記載シタル上本人ニ交付ス可シ

第六條 借地料等ヲ納メサルモノアルトキハ怠納者ヲ督促ス可シ

第七條 現住戸籍簿ヲ作製シ置キ本籍寄留ヲ分チ生死出入ヲ加除ス可シ

第八條 市有地内ニ寄留シタル者アルトキハ京橋區及本籍地戸籍吏ニ届出テ寄留地ヲ去ル者アルトキハ京橋區戸籍吏ニ届出ツヘシ

第九條 日市有地内ニ巡回シ若シ異常アルトキハ速ニ其狀況當廳ニ申告ス可シ

第十條 暴風雨若クハ出火ノ際ハ速ニ派出シ不取締之ナキ様注意ス可シ

第十一條 簿書ニ記載ス可キ事項アルトキ又ハ簿書上變更ス可キ事項アルトキハ速ニ加除訂正シ錯雜ヒサル様注意ス可シ

第十二條 前條條ノ外當廳ノ命令若クハ區長ノ指揮シタル事項ヲ處理ス可シ

●橋本町市有地差配人服務規程

明治二十二年十二月二十七日
市訓令第三百三十一號 第三百三十二號

神田區役所

橋本町市有地差配人

橋本町市有地差配人服務規程ヲ改定スルコト左ノ如シ

橋本町市有地差配人服務規程

第一條 當廳ヨリ市有地ニ關スル命令ヲ發シタルトキ

ハ遺漏ナク借地人ニ傳達スヘシ

區長ヨリ告示ヲ發シタルトキモ亦同シ

第二條 借地人等ニ於テ貸渡規則及市有地ニ關スル諸命令ニ背クコトナキ否ヲ注意シ若シ違背者アルトキハ當廳ニ具中スヘシ

區長管理ノ事項ニ付ラハ區長ヘ申告スヘシ

第三條 借地ニ關スル願届ヲ出シタルトキハ貸渡規則願書式市有地原簿地圖等ニ照シ不都合ナキニ於テハ其願届ニ加印スヘシ

第四條 前條ノ書面中不都合アルトキハ説諭ノ上改訂セシムルハ妨ケナシト雖モ若シ之ヲ肯セサルトキハ意見ヲ附スヘシ其願届ヲ壅塞スルコトヲ得ス

第五條 願届ニ對スル當廳ノ指令ヲ區長ヨリ送致シタルトキハ市有地原簿地圖等ニ其要旨ヲ記載シ然ル後本人ニ傳達スヘシ

第六條 借地料等ハ區長ノ指揮ヲ受ケ歲入歲出納規

則ニ據リ取纏メノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 前條ノ借地料等ヲ納メサル者アルトキハ怠納者ニ督促シ取纏方ニ注意スヘシ

第八條 當廳負擔ノ井溝等ニ要スヘキ翌年度ノ經費豫算ヲ取調毎年十一月限り之ヲ差出スヘシ

第九條 前條井溝等ノ修築浚渫ヲ要スルトキハ其經費ヲ取調之ヲ具中スヘシ

第十條 前條ノ工事ハ當廳ノ指揮ニ依リ之ヲ擔任シ而シテ竣工ノ後検査ヲ受クヘシ

第十一條 便所芥捨場等ノ掃除ハ適當ノ者ニ請負ハシメ不潔之ナキ様注意スヘシ

第十二條 現住戶籍簿ヲ製シ置キ本籍寄留ヲ別テ生死出入ヲ詳記スヘシ

第十三條 寄留シタル者アルトキハ明治十九年内務省

令第十九號第六條ニ依リ神田區長及本籍地市町村長又ハ區長ニ届出テ寄留地ヲ去ル者アルトキハ同第七條ニ依リ神田區長ニ届出テ而シテ現住戶籍簿ヲ加除スヘシ

第十四條 時時市有地ヲ巡視シ若シ異常アルトキハ速ニ當廳ニ具申スヘシ
但出火暴風雨等アリタルトキハ不取締之ナキ様注意スヘシ

第十五條 簿書ニ記載スヘキ事項アルトキ又ハ簿書上變更スヘキ事項アルトキハ速ニ加除添削シ錯雜セサル様注意スヘシ

第十六條 其他當廳ノ命令若クハ區長ノ指揮シタル事項ヲ處理スヘシ

●市有地地料三箇月分免除處分

明治三十一年三月二十五日
市會 議決 第十五號

市有地借用人ニシテ火災ノ爲メ燒失セシ者アルトキハ自今市參事會限リ地料三箇月分ノ免除處分ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

●洲崎辨天町二丁目空地借地料免除區別

明治二十八年一月十七日
市會 告示 第四號

明治二十二年八月東京市告示第二十八號洲崎辨天町地所貸渡規則ニ依リ同町二丁目ノ内明治二十七年十二月以前ノ空地ヲ借用シ家屋ヲ建築スル者ニ對シ差ノ區別ニ依リ借地料ヲ免除ス

一 本年十二月以前ニ一區域百坪以上ノ地所ヲ借用スル者ニシテ許可後三箇月以内ニ左記坪數ノ本建築ニ著手シタル者ニ限リ工事落成検査済ノ月ヨリ滿二箇年間借地料ヲ免除ス

但貸渡ノ時ヨリ工事落成迄ハ既定ノ借地料ヲ徴収ス

- 一 地坪 百坪以上ハ 建坪五十坪以上
 - 一 同 二百坪以上ハ 同 百坪以上
 - 一 同 三百坪以上ハ 同 百五十坪以上
- 以下此割合ニ準ス

二 現今貸渡アル空地ニシテ三箇月以内ニ本建築ニ着手スル者モ亦前項ヲ適用ス

三 借地料免除満期後ハ既定ノ借地料ヲ徴収ス

● 河岸地其他市有地借地料滞納處分方具申
明治二十三年十一月二十五日
市訓令 第四號

區 役 所

河岸地其他市有地借用人ニシテ二个月以上其地料ヲ滞納シ數次督促スルモ完納セサル者アルトキハ其處分方

ヲ具申スヘシ

● 市有地ノ滞納借地料請求訴訟行爲ニ關スル委任
明治三十二年十二月二十一日
市會議決 第百十三號

市有地借地人ニシテ地料ヲ滞納シ市參事會ニ於テ必要ト認ムルトキハ直ニ訴訟ヲ提起スルモノトス

● 河岸地及市有地所在建物引拂請求訴訟提起方
明治二十五年九月二十六日
市會議決 第七十二號

河岸地其他市有地借地人ニシテ地料滞納又ハ其他ノ事故ニ依リ返地ヲ命シタル後所在ノ家屋等引拂ハサル者アルトキハ市參事會限リ所轄區長ヲシテ其家屋等引拂請求ノ訴訟ヲ提起セシムルコトヲ得

● 洲崎辨天町貸座敷營業地域内空地貸渡方
明治三十年一月二十三日
市訓令 乙 第六號

深川區役所

洲崎辨天町二丁目内拾間道路以北至十一番地ヲ貸座敷營業地ノ區域トナシ現在ノ空地ヲ自今同業者ニ限り貸渡スヘキニ付此旨借地出願人へ傳達スヘシ
(但書省察)

●土地借用使用願届書等區役所經由方

明治三十一年十二月二十五日
市告示 第七十五號

本市所有及管理ニ屬スル土地ヲ借用又ハ使用スルモノニシテ水道給水規則ニ依リ提出スル願届書等地主ノ速署ヲ要スヘキモノハ所轄區役所ヲ經由スヘシ

●洲崎辨天町其他市有地借用願書式

明治二十二年九月十八日
市訓令 第十一號

洲崎辨天町ヲ借用セントスル者ハ甲號書式ニ其他ノ市有地ヲ借用セントスル者ハ乙號書式ニ依リ願書ヲ差出

區 役 所

サシム可シ

甲號書式

洲崎辨天町借地願

洲崎辨天町何丁目何番地

表坪何程

住 所

此借地料一坪ニ付一箇月金五錢

族 籍

裏坪何程

氏 名

此借地料一坪ニ付一箇月金參錢

堤敷何程

此借地料一坪ニ付一箇月金壹錢

地坪合計何程一箇月借地料合金何程

私儀何業ヲ營ミ度ニ付右ノ地所借用仕度規則遵守可仕ハ勿論本人不在又ハ地料淹滞等ノ節ハ保證人ニ於テ諸事相辨シ可申候間御許可被下度圖面相添此段相願候也

年月日	借地願人 氏名印
	住所
	族 籍
	保證人 氏名印
	差配人 氏名印
	(差配人ア)
	東京市參事會
	「東京府知事」何某殿
	前書何某保證人ヲ云フハ其肩書ノ地ニ居住シ及當市内ニ土地(家屋)ヲ所有スル者ニ相違無之候也
	何 區長 氏名印
	前書願ノ趣相違無之候也
	深川區長 氏名印
	洲崎辨天町借地換願
	洲崎辨天町何丁目何番地

表坪何程	住所
此借地料一坪ニ付一箇月金五錢	族 籍
裏坪何程	返地人 氏名
此借地料一坪ニ付一箇月金參錢	住 所
堤敷何程	族 籍
此借地料一坪ニ付一箇月金壹錢	借地願人 氏名
地坪合計何程一箇月借地料合金何程	
右何某返地仕度引續同地所在ノ家屋買讓受人何某何業ヲ營ミ度ニ付右之地所何某借地期限内借用仕度規則遵守可仕ハ勿論本人不在又ハ地料淹滞等ノ節ハ保證人ニ於テ諸事相辨可申候間御許可被下度圖面相添此段相願候也	
年月日	返地人 氏名印
	借地願人 氏名印

住所
族籍
何某保證人 氏 名印
住所
族籍
何某保證人 氏 名印
差配人 氏 名印
(差配人ア
ルトキハ)

東京市參事會
「東京府知事」何某殿
前書何某(借地願人ヲ云)ハ其肩書ノ地ニ居住シ及當市内ニ
土地(家屋)ヲ所有スル者ニ相違無之候也
前書願之趣相違無之候也

何區長 氏 名印
深川區長 氏 名印

乙號書式

市有地所借用願

何區何町何番地何號
住所
表坪何程
族籍職業
此借地料一坪ニ付一箇月金何程
氏 名
裏坪何程

此借地料一坪ニ付一箇月金何程
地坪合計何程一箇月借地料合金何程
右ノ地所借用仕度就テハ規則遵守可仕ハ勿論本人不在
又ハ地料淹滞等ノ節ハ保證人ニ於テ諸事相辨シ可申候
間御許可被下度圖面相添此段相願候也

年月日
借地願人 氏 名印
住所
族籍

保證人 氏 名印
 差配人 氏 名印
 (差配人ア)
 東京市參事會
 「東京府知事」何某殿
 前書何某(保證人)ハ其肩書ノ地ニ居住シ及當市内ニ土地
 (家屋)ヲ所有スル者ニ相違無之候也
 何區長 氏 名印
 前書願之趣相違無之候也
 市有地所在ノ區長 氏 名印
 市有地所借地換願
 何區何町何番地何號 住所
 表坪何程 族 籍
 此借地料一坪ニ付一箇月金何程 返地人 氏 名
 裏坪何程 住所

此借料一坪ニ付一箇月金何程 族 籍
 地坪合計何程一箇月借用料合金何程 職業
 借地願人 氏 名
 右何某返地仕度引續同地所在ノ家屋買(讓)受人何某右ノ
 地所借用仕度就テハ規則遵守可仕ハ勿論本人不在又ハ
 地料淹滯等ノ節ハ保證人ニ於テ諸事相辨可申候間御許
 可被下度圖面相添此段相願候也
 年月日
 返地人 氏 名印
 借地願人 氏 名印
 住所
 族 籍
 何某保證人 氏 名印
 住所
 族 籍

東京市參事會

(差配人ハ)

何某保證人 氏 名印

差配人 氏 名印

「東京府知事」何某殿

前書何某(借地願人ヲ云フ)ハ其有書ノ地ニ居住シ及當市内ニ土地(家屋)ヲ所有スル者ニ相違無之候也

何區長 氏 名印

前書願之趣相違無之候也

市有地所在ノ區長 氏 名印

●洲崎辨天町二丁目空地借用家屋建築届書式

明治二十八年二月三十一日

深川區役所

洲崎辨天町二丁目ノ空地ヲ借用シ家屋ヲ建築セントスル者ハ其著手落成トモ左ノ書式ニ依リ届書ヲ差出サシ

ム可シ

(届書式)

家屋建築著手届

一町名及番號	洲崎辨天町二丁目何番地何號
一地	何百何拾何坪何合何夕
一借地許可ノ年月日	明治何年何月何日
一建	木造(石造土藏)何拾何坪何合何夕
一著手年月日	明治何年何月何日

右及御届候也

何區何町何番地

年月日

借地人 何 某印

何區何町何番地

保證人 何 某印

洲崎辨天町事務掛

何 某印

東京市參事會

「東京府知事」何某殿

前書届出ノ通相違無之候也

深川區長 何 某印

定屋建築落成届

一町名及番號	洲崎辨天町二丁目何番地何號
一地	何百何拾何坪何合何勺
一一ヶ月借地料	何圓何拾何錢何厘
一建	木造 <small>(石造土藏)</small> 又煉化造何拾何坪何合何勺
一落成年月日	明治何年何月何日

右及御届候也

何區何町何番地

借地人 何 某印

何區何町何番地

保證人 何 某印

洲崎辨天町事務掛

何 某印

東京市參事會

「東京府知事」何某殿

前書届出ニ依リ檢査候處相違無之ニ付與印候也

深川區長 何 某印

●河岸地借用等願届書式明治二十三年九月十六日

區 役 所

東京市基本財産河岸地借用ニ關スル願届書式ヲ定ムル
コト左ノ如シ

(用紙美濃紙)

河岸地借用願

一區名河岸名及番號 何區何河岸第何號
 一地 坪 何十何坪何合何勺
 一箇月借地料 何拾何圓何拾何錢何厘
 一使用ノ目的 不造地何坪或ハ本造地何坪
 其他何何
 一借用期限 明治何年十二月三十一日迄
 右ノ地所借用仕度就テハ東京市基本財産河岸地貸渡規
 則遵守可仕ハ勿論本人不在又ハ地料淹滯等ノ時ハ保證
 人ニ於テ諸事相辨シ可申候間御許可被下度圖面相添此
 段相願候也
 年 月 日

何區何町何番地

何府(縣)華族(士族平民)

東京市參事會

「東京府知事」何某殿

前書何某(保證人)ハ其肩書ノ地ニ居住シ及當市内ニ土地
 (家屋)ヲ所有スル者ニ相違無之候也

前書願之趣相違無之候也

何區長 何 某印

何岸地所在ノ區長何 某印

一區名河岸名及番號 何區何河岸第何號

一地 坪 何十何坪何合何勺

借地願人 何 某印

何區何町何番地

何府(縣)華族(士族平民)

保證人 何 某印

一一 箇月借地料 何拾何圓何拾何錢何厘
 一使用ノ目的 其地何坪或ハ木造地何坪
 一借用期限 明治何年十二月三十一日迄
 右之地所明治何年十二月三十一日限リ借用滿期ニ付引續キ借用仕度就テハ東京市基本財産河岸地貸渡規則遵守可仕ハ勿論本人不在又ハ地料淹滞等ノ時ハ保證人ニ於テ諸事相辨シ可申候間御許可被下度此段相願候也
 年 月 日

何區何町何番地

何府(縣)華族(士族平民)

借地願人 何 某印

何區何町何番地

何府(縣)華族(士族平民)

保證人 何 某印

東京市參事會

「東京府知事」何某殿

前書何某(保認人)ハ其肩書ノ地ニ居住シ及當市内ニ土地(家屋)ヲ所有スル者ニ相違無之候也

何 區 長 何 某印

前書願ノ趣相違無之候也

河岸地所在ノ區長 何 某印

河岸地借用換願

一 區名河岸名及番號 何區何河岸第何號
 一 地 坪 何十何坪何合何勺
 一 一箇月借地料 何拾何圓何拾何錢何厘
 一 使用ノ目的 其地何坪或ハ木造地何坪
 一 借用期限 明治何年十二月三十一日迄
 右何某返地仕度引續キ同地所在ノ家屋買讓受人何某右

ノ地所借用仕度就テハ東京市基本財産河岸地貸渡規則
遵守可仕ハ勿論本人不在又ハ地料淹滞等ノ時ハ保證人
ニ於テ諸事相辨シ可申候間御許可被下度圖面相添此段
相願候也

年 月 日

何區何町何番地

何府(縣)華族(士族平民)

返地願人 何 某印

何區何町何番地

何府(縣)華族(士族平民)

借地願人 何 某印

何區何町何番地

何府(縣)華族(士族平民)

何某保證人 何 某印

何區何町何番地

何府(縣)華族(士族平民)

何某保證人 何 某印

東京市參事會

「東京府知事」何某殿

前書何某(借地願人)ハ其肩書ノ地ニ居住シ及當市内ニ

土地(家屋)ヲ所有スル者ニ相違無之候也

何 區 長 何 某印

前書願之趣相違無之候也

河岸地所在ノ區長 何 某印

河岸地使用換願

一區名河岸名及番號 何區何河岸第何號

一地 坪 何拾何坪何(合)何勺

一現 使用 名 木造地或ハ何何

一 使用ノ變更 煉化石造或ハ何何
一 借用期限ノ變更 明治何年十二月三十一日迄
右之通變更仕度圖面相添此段相願候也
年 月 日

何區何町何番地

何府縣華族士族平民

借地人何 某印

何區何町何番地

何府縣華族士族平民

保證人何 某印

東京市參事會

「東京府知事」何某殿

前書願之趣相違無之候也

河岸地所在ノ區長何 某印

河岸地返地願

一 區名河岸名及番號 何區何河岸第何號

一 借用期限 明治何年十二月三十一日迄

右都合ニ依リ返地仕度同地所在ノ建物取毀テ地所原形
ニ復シ候ニ付御許可被下度此段相願候也
年 月 日

何區何町何番地

何府縣華族士族平民

返地願人何 某印

何區何町何番地

何府縣華族士族平民

保證人何 某印

東京市參事會

「東京府知事」何某殿

前書願之趣相違無之候也

河岸地所在ノ區長何 某印

河岸地繼續屆

一區名河岸名及番號 何區何河岸第何號

一地 何十何坪何合何勺

一借 用 期 限 明治何年十二月三十一日迄

右借地人何某死亡退隱私家督和續仕候ニ付當初御許可ノ通繼續借用仕候此段及御届候也

年 月 日

何區何町何番地

何府(縣)華族(士族平民)

繼續届人 何 某印

何區何町何番地

何府(縣)華族(士族平民)

東京市參事會

保證人何 某印

「東京府知事」何某殿

前書届出ノ趣相違無之候也

河岸地所在ノ區長何 某印

保證人變更届

一區名河岸名及番號 何區何河岸第何號

一舊保證人氏名 何 某

一新保證人氏名 何 某

一保證人變更ノ理由 死亡或ハ何何

右及御届候也

年 月 日

何區何町何番地

何府(縣)華族(士族平民)

借地人 何 某印
 何區何町何番地
 何府(縣)華族(士族平民)
 舊保證人 何 某印
 何區何町何番地
 何府(縣)華族(士族平民)
 新保證人 何 某印

東京府參事會
 「東京府知事」何某殿
 前書何某(新保證人)ハ其肩書ノ地ニ居住シ及當市内ニ土地(家屋)ヲ所有スル者ニ相違無之候也
 何 區 長 何 某印
 前書届出ノ趣相違無之候也
 河岸地所在ノ區長 何 某印

● 河岸地借用願許可受書式
 明治三十二年一月二十六日
 市訓令乙第二十六號
 區役所(赤坂四谷本郷)
 本市基本財産河岸地借用(換用)及年期繼續ニ對スル指令書ノ送付ヲ受ケタルトキハ豫メ左記ノ受書ヲ徴シタル上指令書ヲ本人ニ交付スヘシ
 河岸地借用(換用)許可ニ付受書
 何區何河岸第何號
 右ハ今般借用(換用)御許可相成候處借用期限中借地料及御規則等御改正相成候共決シテ異議不申上御指揮ニ隨ヒ承諾可致仍テ此段御受申上候也
 年 月 日 借 主 何 某
 保 證 人 何 某
 市參事會市長宛

壹錢
印紙

明治三十一年五月三十一日
市參事會議決
請書

●河岸地市有地護岸修繕願等ニ關スル請書式

今般何區何河岸何號又ハ何何市有地私借用ニ屬スル地所ノ護岸御修繕相成又ハ相願候ニ付テハ左記ノ通可相守候

一建物ニ對スル請方豫防ノ義ハ工事ニ御差支無之様自費ヲ以テ何日間ニ取設クヘキ事

一前項ノ期日內ニ請方豫防ヲ怠リシ爲メ工事ト差支相成候節ハ直ニ工事施行相成候共異議無之ハ勿論之カ爲メ建物其他ニ損害アルモ決シテ苦情等無之事

但此場合ニ要シタル請方豫防費及請方豫防ヲ怠リタル爲メニ生シタル損害ハ總テ辨償可致事

一工事中天災其他ノ事變ニ依リ建物崩壞又ハ其他ニ損

害相生シ候共決シテ苦情中間敷事

一工事ノ妨害トナルヘキ行爲ハ致間敷事

一何何 右ノ外必要ノ件ヲ記載セシム

右之通履行可仕候此段御請申上候也

何區何町何番地

年 月 日

何

某印

市參事會知事宛

壹錢
印紙
請書

今般何區何河岸何號又ハ何何市有地私借用地ニ屬スル地所護岸御修繕相成候旨御示シノ處何何ニ付何年何月日迄御著手延期相願度右御許可ノ上ハ左記ノ通り可相守候

一延期願中ハ勿論期限後ト雖モ天災其他ノ事變ニテ建物崩壞其他損害相生シ候共決シテ苦情中間敷事

一 延期出願ノ爲メニ生シタル費用ハ御命令次第辦償可
仕事

一 何何 右ノ外必要ノ件ヲ記載ス
右之通履行可仕候此段御請申上候也

年 月 日
何區何町何番地
何 某印

市參事會知事宛

● 河岸地へ表札掲出方明治二十八年二月九日
市參事會議決

河岸地へ表札掲出ノ儀ハ去ル二十五年中區長ヲシテ各
借地人へ示諭セシメ候處今日ニ至リ掲出セサル者又ハ
改正以前ノ地號ヲ記載掲出セシモノ往來有之右ハ實地
調査上不都合ナルノミナラス借地人各自ニ於テモ不便
ニ付自今左記ノ雜形ニ準シ向フ三十日以内ニ掲出方ヲ
所在區長ヲシテ示諭セシムルモノトス

何區何河岸第何號(又ハ從何號至何號)
何ノ某借用地

堅七寸以上
横二寸五分以上

七寸以上

何區何河岸第何號(又ハ從何號至何號)
何某 借用地
何ノ某居住

川市田安区

第七類 公園

●公園地使用規則明治二十二年八月五日市制第三十二條ニ依リ東京市公園地使用規則ヲ設ケ第百二十三條ニ依リ東京府知事ノ許可ヲ受ケ左ノ通之ヲ定ム

東京市公園地使用規則

第一條 公園ニ於テ地所ノ使用ヲ許スモノハ常態ニ於

テ衆庶ノ借樂ニ供シ若クハ遊歩者ニ便益ヲ與フヘシト認ムル營業者ニ限ルヘシ

但場所ニ依リ本文營業者ノ外ト雖モ使用ヲ許スコトアルヘシ

第二條 公園ニ於テ地所ヲ使用セントスルモノハ其地ノ位置、坪數及建家等（掘造ノ大略其他一切ノ）ノ圖面ヲ

作リ當府市町村住民ニシテ土地又ハ家屋ヲ所有スルモノヲ保證人トシ常態ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第三條 使用ノ許可ヲ受ケタルモノハ其翌日ヨリ三十日以内ニ營業上ノ諸設備ニ著手シ成功ノ上ハ其旨常態ニ届出検査ヲ受クヘシ

第四條 使用地内ト雖モ其家屋ノ増築又ハ模様替其他新規ノ造營ヲ爲サントスルトキハ圖面ヲ作リ常態ニ願出許可ヲ受ケ成功ノ上ハ其旨届出検査ヲ受クヘシ

第五條 使用地内ハ勿論其周圍ト雖モ不潔ナラサル様常ニ掃除ヲ爲シ且塵埃ノ飛散セサル様時時淨水ヲ灑キ又降雪ノ節ハ之ヲ取除クヘシ

第六條 使用地内ニ在來ノ樹木ハ之ヲ保護スヘシ常態ノ許可ヲ得スシテ伐採又ハ植換ヲ爲スヘカラス

第七條 使用地ハ之ヲ他人ニ轉貸スルヲ許サス

第八條 使用地ニ設クル一切ノ建物不潔又ハ不體裁ニシテ當應ニ於テ公園ノ美觀ヲ損スルト認ムルトキハ其建物ノ修繕改造又ハ取拂ヲ命スルコトアルヘシ

第九條 當應ヨリ建物ノ取拂ヲ命セラレ又ハ使用地ヲ返納スル者ハ一切ノ建物等ヲ取拂ヒ地所ヲ元形ニ復シ其旨當應ヘ届出検査ヲ受クヘシ若シ之ヲ怠ルトキハ當應ニ於テ直ニ施行シ其費用ヲ辨償セシムヘシ

但使用地ヲ分割シテ返納セントスル者ハ當應ヘ願出許可ヲ受クヘシ(二十四年五月二十六日市規第二號ヲ以テ但書追加)

第十條 使用ヲ許可シタル後ト雖モ公園改良等必要アルトキハ六ヶ月以前ニ之ヲ達シ返地ヲ命ス此場合ニ於テハ相當ノ手當金ヲ付與スルコトアルヘシ

但建物等取拂及返地ノ手續ハ第九條ニ準スヘシ(三年五月十七日市規則第二號ヲ以テ本條改正)

第十一條 使用地内ニアル建物等ノ全部又ハ一部ヲ取除キタルトキハ其旨當應ニ届出ヘシ

第十二條 當應若クハ使用人ノ建設シタル家屋ヲ借受ケ住居若クハ出稼ヲ爲ス者モ亦此規則ヲ遵守スヘシ

第十三條 此規則實施ニ關シ當應又ハ區役所ニ於テ使用地内建物等ヲ臨時検査スルコトアルヘシ

第十四條 使用地ニアル建物等ノ賣買讓受ヲナストキハ雙方建署シ當應ニ願出テ使用換ノ許可ヲ受クヘシ

第十五條 凡テ公園ニ關シ當應ヘ願届書ヲ出ストキハ其公園所在地區長(飛鳥山公園地ニ於テハ本郷區長)ノ與印ヲ受クヘシ

第十六條 此規則第三條第四條第五條第六條第七條第八條第十二條ニ違背シタルトキハ當應ニ於テ其情狀ニ依リ日限ヲ定メ返地ヲ命スルコトアルヘシ

但建物等取拂及地所ヲ元形ニ復スルノ手續ハ總テ

第九條ニ準スヘシ

第十七條 淺草公園第七區内ニハ此規則第二條ノ割註

第三條第四條第十一條ヲ施行セス

●公園地使用規則中下谷并緑町公園ニ施行セサ

ル條項明治二十四年二月十三日
市訓令第十九號第二十三號

下谷區 役 所

其區下谷町公園ニハ明治二十二年八月東京市規則第二號

東京市公園地使用規則中左ノ條條ハ當分ノ内施行セサ
ル儀ト心得ヘシ

東京市公園地使用規則第二條割註第三條第四條第八條

第十一條第十三條(二十六
年五月二十九日市訓令第百
三十三號ヲ以テ第七條ヲ三
字刪除)

●緑町公園ニ公園規則第七條施行方

明治二十七年三月十九日
市訓令第三十九號

本所區役所

明治二十四年二月二十號ヲ以テ緑町公園ニ公園規則中
施行セサル條項及訓令候處右ノ内第七條ハ従前ノ貸渡
期限満了ノ日ヨリ施行スル儀ト心得フヘシ

●公園使用料細則明治二十二年八月二十三日
市訓令第三十三號

市制第三十一條ニ依リ東京市公園地使用料細則ヲ設ケ
第百二十一條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通之ヲ
定ム

東京市公園使用料細則

第一條 當應ノ許可ヲ受ケ公園ノ地所ヲ使用スル者ハ

當應ニ於テ特ニ定ムル所ニ從ヒ使用料ヲ納ムヘシ

但國家ニ功勞アルモノ及頌揚スヘキ事蹟ヲ不朽ニ
傳ヘントスルノ目的ヲ以テ紀念碑ヲ建設スル爲メ

敷地使用ヲ許ストキハ其使用料ヲ徴收セサルモノ
トス(二十七年三月十二日市訓
令第一號ヲ以テ但書追加)

新タニ地所ヲ需シ使用セシムル場合ニ於テハ其使用料ヲ競争入札ニ付シ滿三箇年間ハ落札金額ニ依リ使用料ヲ徴收シ滿限ノ時ヨリ前項ニ從ヒ使用料ヲ徴收スヘシ

但一區域ヲ爲スニ足ラサル地所ハ接近地ノ使用料ニ準シ接續地ニ併セテ使用セシムルコトアルヘシ
(二十五年七月十八日市條例第二號ヲ以テ本項追加)

第二條 使用料ハ毎月二十日ヨリ二十八日マテニ其月分ヲ納ムヘシ

第三條 十五日以前ニ使用ノ許可ヲ受ケ及十六日以前ニ返地シタルモノハ其使用料一個月分十六日以後ニ許可ヲ受ケ及十五日以前ニ返地シタルモノハ其使用料半ヶ月分ヲ納ムヘシ
但使用許可ノ節ハ其翌日ヨリ返地ノ節ハ實地點檢

受取濟ノ日ヲ以テ本文ノ計算ヲ爲スヘシ

第四條 使用換ノ許可ヲ得タルトキハ其月ノ使用料ハ後ノ使用人ヨリ徴收スヘシ

但本文ノ場合ニ於テ前使用人ニ使用料ノ怠納アルトキハ後ノ使用人ニ於テ之ヲ辨納スヘキモノトス
第五條 使用料ヲ増額スル場合ニ於テハ三個月以前ニ之ヲ達スヘシ

第六條 使用料ヲ定期内ニ納メサルトキハ市制第二百二條ニ依リ處分スルノ外當應ニ於テ日限ヲ定メ返地ヲ命スルコトアルヘシ

第七條 當應ヨリ返地ヲ命セラレタル者ハ建物等ヲ取拂ヒ地所ヲ原形ニ復シ其旨當應へ届出檢査ヲ受クヘシ若シ之ヲ怠ルトキハ當應ニ於テ直ニ施行シ其費用ヲ辨償セシムヘシ

●公園使用料入札明治二十五年七月十八日
 東京市公園使用料入札ニ關スル件市會ノ議決ヲ經左ノ
 通之ヲ定ム

東京市公園使用料細則第一條二項ニ依リ使用料ヲ競爭
 入札ニ付スルトキハ明治二十三年東京市告示第六十三
 號市有地貸渡入札規則ヲ適用ス

●淺草公園仲店貸渡規則明治二十二年七月三十日
 告示第二十三號

淺草公園仲店貸渡規則市會ノ議決ヲ經テ左ノ通之ヲ定
 ム

淺草公園仲店貸渡規則

第一條 淺草公園第二區仲店ハ三今年ヲ一期トシ貸渡
 シ身元保證金及借家料ヲ徵收スル者トス
 但滿期ノ後更ニ借家セントスルモノハ期限ヨリ二
 个月以前ニ出願スヘシ

第二條 仲店ヲ借用セントスル者ハ當府市町村住民ニ
 シテ戸主タル者ヲ保證人トシ當廳ニ願出テ許可ヲ受
 クヘシ

第三條 借家ノ許可ヲ得タル者ハ七日以内ニ借家料七
 个月分ニ相當スル金額ヲ身元保證金トシテ淺草區役
 所ヘ納ムヘシ

但七日以内ニ身元保證金ヲ納メサル者ハ借家許可
 ノ効ヲ失フ者トス

第四條 煉化家屋ノ構造ヲ損シ若クハ保存方ニ妨害ア
 ル雜作ヲナシタルトキハ當廳ニ於テ期限ヲ定メ改修
 セシムヘシ

第五條 新ニ日除布簾及看板等ヲ取設ケントスルトキ
 ハ當廳ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第六條 借家ヲ返納セントスルトキハ一切ノ雜作等ヲ

取除キ元形ニ復シ其旨當廳ニ届出検査ヲ受クヘシ
 返納済ニ至レハ身元保證金ヲ返付スヘシ若シ其取除
 キ又ハ元形ニ復スルコトヲ怠リタルトキハ當廳ニ於
 テ直ニ着手シ其費用ヲ身元保證金ヨリ辨償セシメ殘
 金ハ返付シ不足アルトキハ追徴スヘシ

第七條 當廳又ハ淺草區役所ニ於テ臨時吏員ヲ派出シ
 借家内雑作等ヲ検査セシムルコトアルヘシ此場合ニ
 於テ借家人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第八條 借家換ヲ爲サントスルトキハ双方連署シ當廳
 ニ願出テ許可ヲ受クヘシ此場合ニ於テハ前借家人ノ
 納メタル身元保證金ハ後借家人ノ納メタルモノト見
 做シテ處分スヘシ

但本文ノ場合ニ於テハ其月ノ借家料ハ後借家人ヨ
 リ納ムヘシ

第九條 借入期限中借家換スル者ハ後借家人ニ向ヒ殘
 リ年限ヲ貸渡スモノトス

第十條 借家人ニ於テ其家屋ニ關シ當廳ニ願届等ヲ出
 ストキ淺草區長ノ與印ヲ受クヘシ

新ニ借家ヲナサントスルトキハ先ツ願人所在地ノ區
 長又ハ町村長ノ與印ヲ受ケ然ル後淺草區長ノ與印ヲ
 受クヘシ

第十一條 借家料ハ毎月二十日ヨリ二十八日迄ニ淺草
 區役所ニ納ムヘシ

第十二條 十五日以前ニ許可ヲ受ケ及十六日以後ニ返
 納シタルモノハ其借家料一个月分十六日以後ニ許可
 ヲ受ケ及十五日以前ニ返納シタルモノハ其半个月分
 ヲ納ムヘシ

但借家ヲ許可シタルトキハ開業スルト否トニ拘ラ

ス其翌日ヨリ返納ノ節ハ實際検査受取済ノ日ヲ以テ本文ノ計算ヲナスヘシ

第十三條 借家料ヲ滞納シ又ハ此規則ニ違背シタルトキハ期限内ト雖モ返納ヲ命スルコトアルヘシ此場合ニ於テ雜作取除等ノ手續ハ第六條ニ準スヘシ但滞納ノ金額ハ直ニ身元保證金ヨリ控除シ殘餘アレハ之ヲ返付スヘシ

●公園地及基本財産所屬地貸地料免除

明治三十一年七月七日
市會議決第五十一號

本市公園地及基本財産所屬地ノ内貸付ケ地所ニ對シ本市工事等ノ爲メ一時使用スル場合ニ於テ貸地料等ハ使用期間市參事會限リ之ヲ免除スルコトヲ得

●淺草公園内燒失跡地所使用料免除處分方

明治二十六年十一月十七日
市會議決第八十二號

本年十一月淺草公園第七區馬道町一丁目十七番地ヨリ出火ノ際燒失ニ罹リシ地所使用人ニ對シ使用料三ヶ月分ヲ免除スルモノトス

但將來公園内ニ於テ本文ノ場合アルトキハ市參事會限リ使用料免除ノ處分ヲナスコトヲ得

●公園事務取扱心得

明治二十二年八月九日
市訓令第四十八號至第五十三號

淺草、麴町、日本橋、區役所
芝、深川、本郷(本所)區役所

(本所區役所ハ二十四年二月十六日
市訓令第二十四號ヲ以テ同文ヲ訓令ス)

東京市公園事務取扱心得左ノ通り之ヲ定ム

東京市公園事務取扱心得

第一條 左ノ事項ハ區長ヲシテ之ヲ掌理セシム

一 事務掛ヲ監督シ掃除人及小使ヲ進退スル事

但掃除人小使ヲ備入及解備ノ節ハ當廳ニ報告ス

ヘシ

- 一 使用料借家料雜入金滯納處分ノ事
- 一 使用料借家料雜入金ヲ徵收スル事
- 第二條 左ノ事項ハ事務係ヲシテ掌理セシム
 - 但事務係ヲ置カサル公園ハ第一項第三項第六項ハ區吏員ヲシテ取扱ハシム
- 一 公園内巡視ノ事
- 一 使用料借家料雜入金取纏メノ事
- 一 地所并家屋使用願及返地返納届ヲ調査スル事
- 一 明治十九年内務省令第十九號第六條第七條ニ依リ出入寄留届ノ事
- 一 掃除人及小使ノ進退申立ノ事
- 一 掃除人取締ノ事

● 下谷公園事務掛設置並同事務取扱心得

明治二十六年五月十九日
市訓令第百十七號

下谷區役所

下谷公園ニ事務掛ヲ置キ事務取扱心得左ノ通之ヲ定ム

下谷公園事務取扱心得

- 第一條 左ノ事項ハ區長ヲシテ之ヲ掌理セシム
 - 一 事務掛ヲ監督シ小使ヲ進退スル事
 - 但小使ヲ備入及解備ノ節ハ當廳へ報告スヘシ
 - 一 地所使用料及雜入金ヲ徵收スル事
 - 一 地所使用料及雜入金滯納處分ノ事
- 第二條 左ノ事項ハ事務掛ヲシテ之ヲ掌理セシム
 - 一 公園巡視ノ事
 - 一 地所使用料及雜入金取纏メノ事
 - 一 地所使用願及返地届ヲ調査スル事
 - 一 明治十九年内務省令第十九號第六條第七條ニ依リ出入寄留届ノ事

一 小使ノ進退申立ノ事

● 淺草公園事務掛ニ於テ願届書等ニ實印押捺方

明治二十二年八月十四日
市訓令第五十九號

淺草區役所

其區公園事務掛ニ於テ願届書等ニ連署及地料其他假領
收證ヲ發スル時ハ都テ首席員(首席員不在ノ)ノ實印ヲ押
捺セシムヘシ

● 公園地使用願及淺草公園煉化仲見世借家願書

式 明治二十二年八月五日
市訓令第九號

區 役 所

東京市公園地使用願及淺草公園煉化仲世借家願書式左
ノ通之ヲ定ム

(書 式) 用紙美濃紙

公園地使用願

何公園(何區)何號

住 所

地坪何程

族 籍

此使用料一個月

氏 名

金何程

但一坪ニ付金何程

私儀今般何何ノ爲メ其目的ヲ記載ス前書ノ地所使用致
度尤公園ニ關スル諸規則遵守可致ハ勿論其本人不在又
ハ使用料ノ淹滯有之時ハ保證人ニ於テ都テ相辨シ可申
候間御許可被下度圖面相添此段奉願候也

右

年 月 日

氏 名 印

住 所

族 籍

保 證 人 氏 名 印

(事務掛ノ設ケ) 何公園事務掛

氏 名印

東京市參事會

「東京府知事」何某殿

前書之通リ相違無之候也

本人所在地ノ區長(町村長)

氏 名印

公園所在地ノ區長

氏 名印

前書保證人何某ハ其肩書ノ地ニ居住シ土地(家屋)ヲ所有スル者ニ相違無之候也(二十六年六月二十四日市廳令第二號ヲ以テ奧書追加)

何區長(町村長) 氏 名印

(圖ハ美濃紙ヲ二ツ折ニシテ右半葉ニハ使用セントスル土地ノ位置間數ヲ朱書シ尙隣地ヲ墨書スヘシ左半葉ニ

ハ借地ノ位置ヲ墨書シ建家ノ坪數ヲ始メ構造ノ大略其他設營ヲ朱書スヘシ)

公園地使用換願

住所

族 籍

地坪何程 此使用料一個月 返地人 氏 名

住所

族 籍

金何程 但一坪ニ付金何程 使用願人 氏 名

右何某返地致度引續同地所所在ノ家屋買護受人何某何ノ爲メ前書ノ地所使用致度以下同文

右

氏 名印

右

年月日

何月ヨリ何年何月マテ拜借致度御許可ノ上ハ身元金即納借家料ノ儀ハ無相違上納可仕ハ勿論該家屋貸渡規則及公園ニ關スル諸規則遵守可仕候尤本人不在又ハ借家料淹滞等有之時ハ保證人ニ於テ都テ相辨シ可申候間御許可被下度此段奉願候也

右

年月日

氏名印

住所

族籍

保證人 氏名印

淺草公園事務掛

氏名印

東京市參事會

「東京府知事」何某殿

前書ノ通相違無之候也

本人住所地ノ區長(町村長)

氏名印

淺草區長

氏名印

前書保證人何某ハ其肩書ノ地ニ居住シ戶主タル者ニ相違無之候也(二十六年六月二十四日市訓令第二號ヲ以テ奥書追加)

何區長(町村長)

氏名印

煉化仲店借家換願

淺草公園第二區

住所

煉化仲店西(東)何番

族籍

一二階建煉化家屋

一戶返納人

氏名

表問口何間(何尺)此坪何坪何合何勺
 此借家料一箇月 住所
 金何程 族籍
 身元金何程 拜借願人 氏 名
 右之家屋何某拜借罷在候處都合有之候ニ付返納引續何
 某何營業ヲ以テ出稼ノ爲メ明治何年何月ヨリ何年何月
 迄拜借致度御許可ノ上ハ兼テ何某ヨリ上納致置候身元
 金何圓何拾錢何厘ハ示談濟其儘相納置借家料ノ儀ハ月
 月無相違上納可仕ハ勿論該家屋貸渡規則及公園ニ關ス
 ル諸規則遵守可仕候尤本人不在又ハ借家料淹滯等有之
 時ハ保證人ニ於テ都テ相辨シ可申候間御許可被下度此
 段奉願候也

年月日 氏 名印

右 氏 名印
 住所 族籍
 何某保證人 氏 名印
 住所 族籍
 何某保證人 氏 名印
 淺草公園地事務掛 氏 名印
 東京市參事會
 「東京府知事」何某殿
 前書之通相違無之候也
 本人所在地ノ區長(町村長)

淺草區長

氏 名印

氏 名印

●淺草公園地改正方法明治十七年一月十六日
達第二十號淺草區役所へ

淺草公園地改正方法

- 一 公園内ヲ六區ニ分チ第一區第四區内及黄色道敷ニ係ル出稼店并第五區朱黒内ノ出稼店ハ本年七月限り悉皆取拂返地セシムヘシ
- 二 第五區ニ圖面ノ通縦横ニ幅五間及二間半ノ新道ヲ開設スルニ付區域内現在ノ建物ニシテ道敷ニ係ルモノ又ハ矮陋不潔ト見認ムルモノハ本年一月ヨリ向壹ケ年ヲ限り改造セシムヘシ
- 三 第五區内ハ料理店及蕎麥店ヲ除ク外二十五坪以上ノ建物ハ建設ヲ許サス

- 但二十五坪未滿ト雖モ住居専用ノ建物ハ建設スルコトヲ許サス
- 四 第五區内ノ建物ハ寫眞師ヲ除クノ外軒高サ地盤ヨリ桁上端迄一丈以内建設セシムヘシ
- 五 屋上ハ三坪以内ノ茶室等ノ外茅葺藁葺ヲ許サス
- 六 第五區内現在ノ建物ニシテ前三項ニ適セサルモノハ二ケ年ヲ限り改造セシムヘシ
- 但二ケ年以内ト雖モ改造ノ節ハ制限ニ據ラシムルモノトス
- 七 第五區内出稼者ニシテ第十二項ノ限外ノ業ヲ營ム者ハ本年七月限り引拂ハシムヘシ
- 八 第六區内ハ借地ヲ許可スルニ付第一區第五區ニ於テ今般取拂ヲ命シタルモノ更ニ借地ヲ願出ルトキハ他ノ新願者ト同時ニ出テ若クハ後レテ出ルモ新願者ニ

許可セサル以前ナルトキハ取拂ヲ命シタル者ニ向テ
 許可スルモノトス

九第六區中壹號ヨリ四號迄ノ區域ヲ設ケ其區域中更ニ
 小區域ヲ立テ一區域以内ノ地ハ貸渡ササルモノトス

十興行遊覽場ノ類ハ第六區中第三四號ノ區域内ニ限ル
 モノトス

十一第六區内ノ建物ハ觀セ物小屋寫真師料理屋飲食店
 寄席ヲ除クノ外軒高サ及屋上ハ第五區ニ同シ

十二第五區内ノ出稼ハ左ノ營業ニ限リ許可ス

料理屋、寫真店、菓子屋、
 飲食店牛肉屋、肉屋、天麩屋、鱈屋、チヂミ屋、除クノ外
 菓物屋、煎豆腐、遊技場娯楽射的、吹矢、
 球戲所、(大弓ハ除ク)和洋小間店、
 袋物店、書畫骨董店、玩弄物店、
 竹唐木細工店

下駄草履傘商、繪草紙屋、水茶屋、
 陶器店、塗物店、栽培職、

十三第六區内出稼ハ左ノ營業ニ限リ許可ス
 第五區内ニ於テ許可スヘキ種類并

牛肉店、鳥肉店、鰻屋、
 天麩羅屋、大弓場、寄席、
 諸興行遊覽所

吳服太物店、緒糸物店、紙店、
 和洋酒店、葉茶店、煙草店、
 鯉節鶏卵店、砂糖店、舶來絨物店、
 籠甲店、鏡店、文房具店、
 剪花店、造花店、蝙蝠傘店、
 眼鏡店、煙管店、硝子店、
 藤細工物店、象牙角細工物店、錫鐵業細工物店、

麥藁細工物店、貝細工物店、時計店、
 扇團扇店、筆墨硯店、櫛簀店、
 半襟店、乾海苔店、麩包店、
 水飴店、琴三味線店、石輪店、
 香水香油店、金魚店、瓶店、
 飼鳥店、煮豆佃煮店、新小道具店、
 ランプ店、珠數店、待合茶屋、
 温泉場(一ヶ所)(十八年四月二十六日達ヲ以テ)
 樂種店(二十九年八月二十日市訓)
 令甲第九號ヲ以テ追加)

●淺草公園第二區内出稼店家屋構造法及營業科
明治十八年八月二十五日
達淺草區役所へ

其區公園第二區内出稼店家屋構造法及營業科目別紙之
 通リ制限相設候條右借地人共へ可相達此旨相達候事
 (別紙)

一 第二區内ノ出稼店ハ料理店及飲食店ヲ除クノ外二
 十五坪以上ノ建物ハ建設スルヲ許サス
 但二十五坪未滿ト雖モ住居専用ノ建物ハ建設ス
 ルヲ許サス

二 第二區内民有建物ノ家上ハ三坪以内ノ茶屋等ノ外
 茅葺藁葺ヲ許サス

三 第二區内同上ノ建物ハ寫眞師ヲ除クノ外軒高サ地
 盤ヨリ桁上端迄一丈以内ニ建設セシムヘシ
 但屋根勾配ハ軒ノ高サニ拘ラス六寸五分以内ヲ
 限トス

四 第二區内同上ノ建物ニシテ前三項ニ適セサルモノ
 ハ向後改築ノ節制限ニ據ラシムヘシ

五 第二區内ノ營業ハ第五區内ニ同シ

●公園規則改正施行期限并遵守事項

明治十七年二月四日
達第四十一號 芝公園役所へ

今般公園規則改正候ニ付テハ其區公園地第壹區第四區
第五區ニ限リ規則第六條第二項第四項ハ特ニ左ノ通相
定メ第壹區第四區ハ本年八月ヨリ第五區ハ來ル明治十
八年一月ヨリ施行候條右借地人へ可達置此旨相達候事
但本文期日迄ハ改正規則ノ通施行候義ト相心得ヘシ
一第壹區第四區第五區内出稼ノ者ハ左ノ項ヲ遵守スヘ
シ
一 夜間ノ營業タリトモ午後第十時ヲ過クヘカラス
二 第壹區第四區ハ宿泊ヲ許サス
三 第五區ハ番人ノ外宿泊セシムヘカラス

● 芝公園内瓦斯管理布費及點火料ニ係ル契約條
件明治二十七年十一月六日
件市會議決第四十二號

芝公園内芝園橋へ瓦斯街燈四基ヲ据付ケタルニ付テハ

四基ニ係ル瓦斯管理布費及二基點火料ニ關シ左ノ條件
ヲ以テ東京瓦斯株式會社ト契約ヲ爲スモノトス
但將來公園内其他ノ場所ニ於テ本文ノ場合アルトキ
ハ市參事會限リ契約ヲ爲スコトヲ得
一金八拾圓五拾參錢 芝公園芝園橋瓦斯管理布費
右金額ハ之ヲ十五分シ點火年限一ケ年ニテ其一分ヲ
減却スルモノトシ若シ十五ケ年ヲ經過シ去ラサル以
前ニ在テ之ヲ廢止スル場合ニハ點火年數ヲ控除シ其
殘年數ニ應シ埋布費殘額ヲ東京瓦斯株式會社ニ支拂
フモノトス
一 瓦斯街燈二基點火料ハ一基ニケ月金貳圓七拾六錢
(三十二年八月一日第五十九號市會議決ヲ
以テ貳圓參十錢ヲ貳圓七拾六錢ニ改ム)

第八類 墓地

● 共葬墓地使用規則明治三十三年十月二十八日告示第七十八號

明治二十四年六月市規則第三號及同年九月市規則第四號共葬墓地使用規則本市會ノ議決ヲ經内務大臣大藏大臣及東京府參事會ノ許可ヲ受ケ左ノ通之ヲ改定ス

共葬墓地使用規則

第一條 墓地ノ使用ハ戶主ヨリ出願スヘシ

但戶主死亡シタル場合ニ於テハ其遺族若クハ縁故アル戶主ヨリ出願スルコトヲ得

第二條 戶主ニ非サル寄留人若クハ止宿人死亡シタルトキハ縁故アル戶主ヨリ出願スヘシ

第三條 墓地使用料ハ左ノ等級及坪數ニ應シ各墓地限リ使用許可ノ際一時ニ之ヲ徵收スヘシ

使用料

墓地使用料

使用坪數	一等地	二等地	三等地	四等地
一坪以下一坪ニ付	六圓	參圓	壹圓半錢	六拾錢
二坪以下一坪ニ付	九圓	五圓	貳圓半錢	
三坪以下一坪ニ付	拾貳圓	七圓	參圓半錢	
四坪以下一坪ニ付	拾五圓	九圓	四圓半錢	
五坪以下一坪ニ付	拾八圓	拾壹圓		
六坪以下一坪ニ付	貳拾參圓	拾參圓		
七坪以下一坪ニ付	貳拾六圓	拾五圓		
八坪以下一坪ニ付	貳拾九圓	拾七圓		
九坪以下一坪ニ付	參拾貳圓			
十坪以下一坪ニ付	參拾五圓			

土坪以下一坪ニ付	參拾九圓			
土坪以下一坪ニ付	四拾貳圓			
土坪以下一坪ニ付	四拾五圓			
土坪以下一坪ニ付	四拾八圓			
土坪以下一坪ニ付	五拾壹圓			
土坪以下一坪ニ付	五拾四圓			

右ノ外一坪ヲ増ス毎ニ一等地ハ金參圓二等地ハ金貳圓三等地ハ金壹圓ヲ遞加ス(三十九年四月一日市告示第...)

第四條 増坪使用ヲ請求スルモノアルトキハ前後ノ坪數ヲ通算シ第三條ノ率ヲ乘シ既納金額ヲ控除シタルモノヲ以テ増坪ノ使用料ヲ徴收ス

但前後ノ等級同シカラサルモノハ其乘級ノ乘率ニ依ル

第五條 墓地使用坪數ハ左ノ制限内ニ於テ一區畫ヲ限

リ許可スルモノトス

- 一等地 二坪以上十六坪
- 二等地 一坪以上八坪
- 三等地 半坪以上四坪
- 四等地 四半坪以上一坪

但制限外増坪ノ必要ヲ生シ事實不得止ト認ムルモノハ他ノ區域ニ於テ更ニ本條ノ坪數ヲ限リ許可スルコトアルヘシ其使用料ハ第四條ニ依ル

第六條 墓地ヲ使用セント欲スルモノハ第七條ニ依リ其場所ヲ選定シ願書ニ該墓地管理者ノ證印ヲ受ケ墓地所轄區長ノ許可ヲ受クヘシ

本條ノ許可ヲ得タルモノハ墓地使用券ヲ受取り之ヲ該管理者ニ示シ其區畫境界ヲ經營スヘシ

第七條 墓地ノ位置選定ハ使用者ノ望ニ應スヘシト雖

モ每區域ニ於テ其一端ヨリ又既ニ使用ヲ許可シタル
場合アルトキハ其接續ノ場所ヨリ順次使用ヲ許可ス
ルモノトス

但其坪數ニ依リ殘地ノ區畫ヲ紊シ不整理ニ至ルト
認ムルトキハ之ヲ加除スルニアラザレハ許可セザ
ルヘシ

第八條 前條ニ依リ許可シタルモノト雖モ一年以上各
自其區畫ニ圍障ヲ設置セサルモノハ之ヲ他人ニ使用
許可スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ更ニ換地ヲ與
ヘ若クハ使用料ヲ還付スルモノトス

但既ニ死屍遺骨ヲ埋葬シタルモノハ此限ニアラス
第九條 墓地使用者ハ家督相續人ヲ除クノ外其使用權
ヲ他人ニ移轉スルコトヲ許サス若シ埋葬セサル一部
若クハ其全部不用ニ屬シタルトキハ看守人ノ證印ヲ

受ケ區長ニ願出之ヲ返納スヘシ

但其一部ヲ返納セントスルモ第五條ノ制限最下限
以下ノ坪數若クハ區畫ヲ紊スト認ムルモノハ許可
スルノ限リニアラス

第十條 返納ヲ許可シタルトキハ每等其坪數ニ應シ第
三條ノ使用料一坪以下ニ相當スル金額ヲ以テ下附ス
ルモノトス

附 則

第十一條 本規則第十條ニ依リ金額ヲ下附スルトキハ
明治二十二年七月十一日以前ニ係ルモノハ一坪ニ付
上等地ハ金貳圓中等地ハ壹圓下等地ハ貳拾五錢ノ割
合ヲ以テシ同日以後明治三十二年十一月一日以前ニ
係ルモノハ一坪ニ付上等地ハ參圓中等地ハ壹圓五拾
錢下等地ハ參拾七錢五厘ノ割合ヲ以テ下付スルモノ

トス

本規則第五條ノ最下限ニ充タサル墓地ニシテ舊規則ニ據リ使用許可ヲ得タルモノ其全部ヲ返納シタル場合ニ於テ更ニ其全部ヲ使用セントスルモノアルトキハ之ヲ許可スルコトヲ得(三十三年四月一日市告示第二十九號ヲ以テ本項追加)

第十二條 本規則ハ明治三十二年十一月一日ヨリ施行ス

本規則施行ニ關スル細則ハ市參事會之ヲ定ム

● 共葬墓地使用規則施行細則

明治三十二年十月二十八日
市訓令 甲第四十號

區 役 所

本市共葬墓地使用規則施行細則ヲ定ムルコト左ノ如シ

共葬墓地使用規則施行細則

第一條 共葬墓地使用規則第六條ニ依リ墓地使用ヲ出

願スルトキハ住居地市町村長若クハ區長ヨリ同規則

第一條及第二條ノ證明ヲ受クヘシ

第二條 家督相續等ニ依リ墓地使用權ヲ繼承セントスル者ハ住居地市町村長若クハ區長ノ證明ヲ受ケ墓地所轄區長ニ願出テ墓地使用券ノ書替ヲ請フヘシ

第三條 墓地使用者住所ニ異動ヲ生シタルトキハ其都度墓地管理者ニ届出ヘシ

第四條 墓地ニ圍障ヲ設ケントスルモノハ願書ニ圖面並仕様書ヲ添ヘ墓地管理者ノ證明ヲ受ケ墓地所轄區長ノ許可ヲ受クヘシ

第五條 従前上等墓地ハ一等地ニ中等墓地ハ二等地ニ下等墓地ハ三等地ニ編入ス

● 龜戶墓地等級組替編入方明治三十二年十一月二日市訓令 甲第四十四號

本 所 區 役 所

本年甲第四十號訓令共葬墓地使用規則施行細則第五條
墓地等級ハ其所管他戸墓地ニ限リ一等地ヲ二等地ニ二
等地ヲ三等地ニ三等地ヲ四等地ニ組替編入ス

● 青山外八ヶ所共葬墓地取扱順序

明治二十二年七月十二日
市訓令 第六十六號

赤坂、下谷、本郷、遠景、區役所
深川本所、小石川、麻布

青山外八ヶ所共葬墓地取扱順序別紙ノ通相定ム

(別紙)

青山外八ヶ所共葬墓地取扱順序

第一條 墓地ニ屬スル工事ハ當廳ニ於テ之ヲ爲スヘシ
但工事ノ小ナルモノハ區長ヲシテ取扱ハシム

第二條 左ノ事項ハ區長ヲシテ之ヲ取扱ハシム

一 管理者ノ監督及其任免ヲ具狀シ并ニ掃除人使丁ヲ
進退スル事(二十九甲四月二十一日市訓令
甲第六號ヲ以テ本項改正)

一 墓地使用規則ニ據リ處分ノ事

一 墓地障得木及倒木枯木處分ノ事

第三條 各墓地ニ看守人ヲ置キ左ノ事項ヲ取扱ハシム

但時宜ニ依リ掃除人ヲシテ看守人ノ事務ヲ兼テシ
ムルコトアルヘシ

一 墓地内巡視ノ事

一 埋葬免許證查收ノ事

一 掃除人締ノ事

一 墓地需用者又ハ返金出願人アルトキ實地取調ノ事

第四條 各墓地ニ掃除人ヲ置キ墓地内道路溝渠掃除取
扱ハシム

第五條 區長ハ墓地ノ使用ヲ許可シタル年月日使用者
ノ住所氏名使用地ノ番號坪數及使用料金額一ヶ月分
取纏メ翌月十日限當廳ニ報告スヘシ

第六條 墓地内ノ掃除人居宅敷地ハ無地料ニテ使用セシムヘシト雖モ家屋建増模様替等ノ節ハ區長ヲ經テ當廳ニ願出ヘシ(二十四年三月二十七日市訓令第六十號乃至第七條ヲ刪除シ第八條ヲ第六條トシ以下採リ上ク)

第七條 掃除人ヲ解備シタルトキハ其居宅敷地ヲ返納セシム此場合ニ於テハ六個月以内ニ建物ヲ取拂ハシムヘシ

但不都合ノ所爲アリテ特ニ取拂ヲ命シタルトキハ其期限ヲ減縮スルコトアルヘシ

● 染井外三ヶ所墓地事務取扱明治二十二年七月一日市訓令第六號

(北豐島郡染井墓地外國人ヲ除ク) 本郷區役所

(北豐島郡雜司ヶ谷墓地) 小石川區役所

(南葛飾郡龜戸墓地) 本所區役所

(南豐島郡澁谷羽根澤墓地) 麻布區役所

(前掲墓地名ヲ記入ス)之事務自今其役所ニ於テ取扱フヘシ

● 外國人墓地共葬墓地ニ編入方

明治三十二年八月五日市訓令
甲第二十七號同二十八號

(北豐島郡染井) 本郷區役所

(青山) 赤坂區役所

(前掲墓地名ヲ記入ス)墓地内外國人墓地ハ自今共葬墓地ニ編入候條其旨心得ヘシ

● 共葬墓地使用許可方明治二十二年八月十五日市訓令從第六十號至第六十四號
小石川本郷本所區役所
下谷赤坂

共葬墓地ハ府下住居ノ戸主ニ限り使用ヲ許可スヘキ儀ト心得ヘシ

但戸主死亡ノ場合ニ於テ其遺族若クハ親戚等ヨリ出願シ又ハ戸主ニアラサル寄留人若クハ止宿人死亡シ

タル場合ニ於テ其親戚若クハ縁故アル者ヨリ出願シ
タルトキハ是又本文同様使用ヲ許可スヘシ

● 共葬墓地使用券書式 明治二十二年七月十三日
市訓令第十七號至第二十二號

(澁谷羽根澤墓地)

麻布區役所

(雜司ヶ谷共葬墓地)

小石川區役所

(龜戸共葬墓地)

本所區役所

(染井共葬墓地)

本郷區役所

(谷中共葬墓地)

下谷區役所

(青山及立山共葬墓地)

赤坂區役所

(前掲墓地名ヲ記入ス使用券書式左ノ通相定ム

但使用券ハ更ニ下附ス(麻布區役所へ)

(書式)

墓地使用券

某區某墓地何側

一何等地何坪

宿所

姓名

此使用料金何圓

右使用ヲ許可シ此券ヲ付ス

年月日

某區役所印

● 谷中墓地改葬代地ノ外使用方

明治二十二年八月八日
市訓令第四十七號

下谷區役所

谷中墓地改葬代地豫備地トシテ坪百參拾四坪ヲ除キ其
他ハ經伺ニ及ハス使用者ノ需メニ應スヘシ

● 共葬墓地増坪使用料 明治二十二年九月十二日
市訓令第六十九號至第七十三號

赤坂、下谷、本郷、區役所
本所、小石川

本年七月十二日東京市規則第一號ヲ以テ共葬墓地使用
料改正ニ付從前墓地ヲ使用スルモノ増墓地ヲ請求スル

トキハ前後ノ坪數ヲ合算シ規則乘率ニ據リ増坪ノ使用料ヲ徴收スヘシ

●元寺院境内共葬墓地使用規則

明治二十四年十一月十九日
市規則第五號

元寺院境内共葬墓地使用規則市會ノ議決ヲ經市制第二百二十二條第二百二十三條ニ依リ内務大臣大藏大臣及東京府知事ノ許可ヲ受ケ左ノ通之ヲ定ム

元寺院境内共葬墓地使用規則

- 第一條 明治二十四年東京市規則第三號共葬墓地使用規則第一條第二條第四條第五條第七條ハ元寺院境内共葬墓地使用ニ適用スルモノトス
- 第二條 墓地使用者ハ家督相續人ヲ除クノ外其使用權ヲ他人ニ移轉スルコトヲ許サス
- 第三條 墓地ノ使用料ハ共葬墓地使用規則第三條ノ乘

率ニ依リ各墓地限リ使用許可ノ始メニ於テ一時ニ之ヲ徴收スヘシ

第四條 墓地管理ニ屬スル一切ノ費用ハ其墓地管理者ノ負擔トス

第五條 第三條ノ使用料ハ墓地管理ノ費用ニ充ツル爲メ其墓地管理者ニ付與スルモノトス

第六條 墓地内ノ枯損木若クハ埋葬ニ障礙アル樹木ヲ伐採セントスルトキハ管理者ヨリ墓地所在地區長ヲ經テ常應ニ申出テ許可ヲ受クヘシ其賣却代金ハ其墓地管理ノ費用ニ充ツル爲メ管理者ニ付與スルモノトス

第七條 墓地ヲ使用セントスル者ハ管理者ニ申出テ其場所ヲ撰定シ使用料ヲ納付シテ墓地使用券ヲ受取ルヘシ

第八條 使用地ノ等級ハ質地ノ形狀ニ依リ管理者ニ於テ豫メ之ヲ定メ墓地所在地區長ヲ經テ當廳ニ申出認可ヲ受クヘシ

第九條 墓地使用者ノ都合ニ依リ埋葬セサル一部若クハ全部不用ニ屬シタルトキハ管理者ニ申出テ之ヲ返納スヘシ

但既納ノ使用料ハ返付セス

第十條 左ノ墓地ハ元寺院境内ニ非サルモ其使用ニ付テハ此規則ヲ適用ス

- 牛込區牛込赤城元町十七番地
- 小石川區小石川大和町二番地
- 同區白山前町七十二番地
- 本鄉區湯島梅園町六番地
- 同區千駄木林町三十九番地二號

淺草區淺草田町一丁目八十一番地
同區淺草龜岡町三丁目百二十九番地

第十一條 此規則ハ明治二十五年一月一日ヨリ施行ス
(參照)

共葬墓地使用規則明治二十四年六月十八日市規 第三號

第一條 墓地ノ使用ハ戶主ヨリ出願スヘシ

但戶主死亡シタル場合ニ於テハ其遺族若クハ縁故アル戶主ヨリ出願スルコトヲ得

第二條 戶主ニアラサル寄留人若クハ止宿人死亡シタルトキハ縁故アル戶主ヨリ出願スヘシ

第三條 墓地使用料ハ左ノ等級及坪數ニ應シ各墓地限リ使用許可ノ始メニ於テ一時ニ之ヲ徴收スヘシ

使用坪數	上等地	中等地	下等地
一坪以下一坪ニ付	參圓	壹圓五拾錢	參拾七錢五厘

二坪以下一坪ニ付	四圓五拾錢	貳圓三拾五錢	五拾六錢五厘
三坪以下一坪ニ付	六圓	參圓	七拾五錢
四坪以下一坪ニ付	七圓五拾錢	參圓七拾五錢	九拾三錢八厘
五坪以下一坪ニ付	九圓	四圓五拾錢	
六坪以下一坪ニ付	拾圓五拾錢	五圓三拾五錢	
七坪以下一坪ニ付	拾貳圓	六圓	
八坪以下一坪ニ付	拾三圓五拾錢	六圓七拾五錢	
九坪以下一坪ニ付	拾五圓	七圓五拾錢	
十坪以下一坪ニ付	拾六圓五拾錢	八圓貳拾五錢	

右ノ外一坪ヲ増ス毎ニ此割合ヲ以テ使用料ヲ増加スルモノトス

第四條 従前墓地ヲ使用スルモノ増坪ヲ請求スルトキハ前後ノ坪數ヲ通算シ第三條ノ乘率ニ依リ増坪

ノ使用料ヲ徵收ス

第五條 下等地ノ使用ハ各墓地限り四坪ヲ超過スルコトヲ得サルモノトス

但上等地又ハ中等地ヲ使用スルモノ下等地ヲ増坪トシテ請求スルトキハ前後ノ坪數ヲ通算シ本條ノ坪數ヲ超過スルヲ得ス

第七條 墓地ノ位置撰定ハ使用者ノ望ニ應スヘシト雖モ每區域ニ於テ既ニ使用ヲ許可シタル場所アルトキハ之ニ接続シタル場所ヨリ順次使用セシムルモノトス

●元寺院境内共葬墓地管理心得

明治二十四年十一月二十日
市訓令第百九十四號

區役所(日本橋區除ク)

元寺院境内共葬墓地管理心得左ノ通相定候條各管理者

（相違スヘシ）

元寺院境内共葬墓地管理心得

第一條 墓地需用者アルトキハ現場ニ臨ミ使用者未定ノ區域ヲ示シ其地所ヲ選定セシムヘシ

第二條 墓地地先下水新設修繕及浚渫并ニ撒水除雪ハ管理者ニ於テ負擔スヘシ

第三條 墓地ノ費用ヲ共葬者ニ出金セシムルトキハ其方法ヲ具シ墓地所在地區長ヲ經テ當廳ニ申出許可ヲ受クヘシ

第四條 墓地及埋葬取締細則違犯者アルトキハ警察官ニ申告スルハ勿論其他異常ノ事アルトキハ速ニ墓地所在地區長ニ届出指揮ヲ受クヘシ

第五條 無縁ノ墳墓ト雖モ猥リニ改葬ス可カラサルハ勿論其墓碑及附属ノ建設物ヲ取除ク可カラス

第六條 墓地内ニハ佛堂其他建設物ヲ爲ス可カラス

第七條 墓地ノ圖面及墓籍ハ錯亂之ナキ様整理スヘシ

第八條 墓地管理者ハ時時墓地内ヲ巡視シ道路溝渠等不潔ナラサル様注意スヘシ

第九條 墓地ハ猥リニ地形ヲ變更スヘカラス又隣地ニ於テ墓地ノ妨害トナルヘキ土功ヲ起スモノアルトキハ其旨墓地所在地區長ニ届出ツヘシ

第十條 墓地内ニハ新タニ井戸ヲ掘鑿ス可カラス但止ムヲ得サル場合ニ於テハ墓地所在地區長ヲ經テ當廳ニ申出許可ヲ受クヘシ

第十一條 前各條ハ元寺院境内共葬墓地使用規則第十條ニ掲クル墓地管理者ニ於テモ之ヲ遵守スヘシ

●元寺院境内共葬墓地使用券書式

明治二十四年十一月三十日
市訓令第百九十六號

區役所(日本橋區神田區ヲ除ク)
 元寺院境内共葬墓地使用券書式左ノ通相定候條管理者
 へ相達スヘシ

(牛込小石川本郷淺草區役所へハ左ノ但書ヲ附ス)
 但元寺院境内共葬墓地使用規則第十條ニ掲クル墓
 地モ本文ニ準ス

(書式用紙四ツ切)

墓地使用券

何區何町何番地何號

一何等地何坪

此使用料金何圓

右使用ヲ承認シ此券ヲ付ス

年 月 日

管理者 氏 名 印

●墓地管理者並事務取扱方(明治二十四年八月十日
 市則令第五號)

區役所(日本橋區神田區ヲ除ク)
 本年ハ東京府令第六十八號ニ依リ共葬墓地ハ従前ノ看
 守人ヲ管理者ト爲シ元寺院境内等ノ共葬墓地ハ追テ管
 理者ヲ定ムルマテ従前ノ慣行ニ依リ管理者ノ事務ハ寺
 院住職等ヲシテ取扱ハシムヘシ

●共葬墓地及元寺院境内共葬墓地墓籍書式

(明治二十四年十一月十九日
 市則令第六號)

區役所(日本橋區神田區ヲ除ク)

共葬墓地及元寺院境内共葬墓地墓籍書式左ノ通相定候
 條各管理者ニ相達スヘシ

(書式用紙類)

番 號	年 號	側 等	何 等	坪 數	何 坪
何 番	何 年	何 級	何 等	何 數	何 坪
料 用 使	金 何 圓				

第九類 水道

第一節 通規

●水道部移轉並事務取扱方

明治三十二年八月二十六日
市告示 第六十七號

本市役所水道部ヲ新設セシ麴町區有樂町二丁目一番地
地先鍛冶橋内外濠埋立地建家ニ移轉シ來ル九月一日ヨ
リ同所ニ於テ事務ヲ取扱ハシム

●水道部事務分掌 明三十四年一月二十八日
水道部事務分掌 水道部長 決 列

水道部事務分掌

第一條 水道部各課ニ左ノ掛ヲ置ク

庶務課

庶務掛

給水掛

検査掛

財務掛

工務課

工務掛

給水工事掛

第二條 各掛ニ掛長ヲ置キ技師事務員技手ヲ以テ之ニ

充ツ掛長ハ其掛ノ事務ヲ掌理ス

但掛中事務ノ種類ニ依リ特ニ主任ヲ置クコトアル

ヘシ

第三條 各掛ノ事務分掌左ノ如シ

庶務課

庶務掛

一 機密ニ關スル事項

一 部員身分ニ關スル事項

- 一 部長印部印管守ニ關スル事項
 - 一 文書收受發送及淨寫ニ關スル事項
 - 一 契約ニ關スル事項
 - 一 文書編纂保存ニ關スル事項
 - 一 統計及事務報告ニ關スル事項
 - 一 役所内外及守衛給仕小使ノ取締ニ關スル事項
 - 一 宿直勤務ニ關スル事項
 - 一 他掛ニ屬セサル事項
- 給水掛
- 一 給水ニ係ル諸願届ニ關スル事項
 - 一 給水臺帳ニ關スル事項
 - 一 量水器及消火栓ニ關スル事項
 - 一 配水工費試験検査料ニ關スル事項
 - 一 給水違背處分ニ關スル事項

- 一 流未裝置及職工試験願ニ關スル事項
 - 一 給水事務報告ニ關スル事項
- 検査掛
- 一 水道用具及給水取締ニ關スル事項
 - 一 給水引用者異動其他調査ニ關スル事項
 - 一 量水器検査及水量査定ニ關スル事項
 - 一 消火栓使用ニ關スル事項
 - 一 排水ニ關スル事項
 - 一 水栓開閉ニ關スル事項
 - 一 水栓番取締ニ關スル事項
 - 一 給水標識及共用栓鑑札ニ關スル事項
- 財務掛
- 一 豫算決算ニ關スル事項
 - 一 收入支出ニ關スル事項

- 一 水料及量水器使用料徴收ニ關スル事項
 - 一 滯納處分ニ關スル事項
 - 一 工事請負ニ關スル事項
 - 一 諸材料物品ノ賣買讓與及出納ニ關スル事項
 - 一 財産保管ニ關スル事項
 - 一 廳舎其他建物營繕ニ關スル事項
- 工務課
- 工務掛
- 一 既設鐵管及附屬器具維持保存ニ關スル事項
 - 一 水源水路ノ工事及保護ニ關スル事項
 - 一 技術ニ屬スル設計及施行ニ關スル事項
 - 一 水道用具ノ試験検査ニ關スル事項
 - 一 鐵管敷設ニ關スル事項
 - 一 圖面保存ニ關スル事項

- 一 測量及製圖ニ關スル事項
 - 一 他掛ニ屬セサル事項
- 給水工事掛
- 一 給水工事ノ設計及施行ニ關スル事項
 - 一 設計ニ屬スル給水工費ノ見積及精算ニ關スル事項
 - 一 流末裝置願調査ニ關スル事項
 - 一 職工試験ニ關スル事項
 - 一 私用消火栓ノ設計及裝置ニ關スル事項
 - 一 鐵具製作及修繕ニ關スル事項
- 第四條 淀橋淨水工場本郷給水工場芝給水工場ニ場長ヲ置キ技師事務員技手ヲ以テ之ニ充ツ場長ハ場務ヲ總掌ス
- 第五條 淀橋淨水工場ニ左ノ掛ヲ置ク
- 庶務掛

機關掛

淨水掛

第六條 前條各掛ニ主任ヲ置キ技師事務員技手ヲ以テ之ニ充ツ主任ハ其掛ノ事務ヲ掌理ス

第七條 淀橋淨水工場各掛ノ事務分掌左ノ如シ

庶務掛

一文書收受發送及淨寫ニ關スル事項

一諸材料出納ニ關スル事項

一財産保管ニ關スル事項

一宿直勤務ニ關スル事項

一工場ニ屬スル建物營繕ニ關スル事項

一收入支出ニ關スル事項

一他掛ニ屬セサル事項

機關掛

一機關ノ運轉ニ關スル事項

一汽機汽關等ノ維持修繕ニ關スル事項

一石炭ノ検査ニ關スル事項

淨水掛

一配水ニ關スル事項

一新水路沈澄池濾池淨水池其他維持清掃ニ關スル事項

一新水路及工場ニ屬スル技術設計及施行ニ關スル事項

一測量及製圖ニ關スル事項

一工場内ノ掃除取締ニ關スル事項

第八條 本郷芝給水工場ノ事務左ノ如シ

一配水ニ關スル事項

一財産ノ保管ニ關スル事項

- 一 工場内清掃ニ關スル事項
- 一 其他工場ニ屬スル事項

附 則

庶務課ニ當分上水掛ヲ置キ事務分掌左ノ如シ

但掛長ノ配置ハ第二條ノ例ニ據ル

- 一 水道榎樹維持ニ關スル事項
- 一 上水井及水船ニ關スル事項
- 一 神田上水維持ニ關スル事項
- 一 神田上水路水車ニ關スル事項
- 一 上水水料徴收及處分ニ關スル事項
- 一 豫算決算ニ關スル事項
- 一 準備金ニ關スル事項
- 一 收入支出ニ關スル事項

● 水道鐵管敷設工費寄附金處分方

明治三十四年二月一日
市會議決水改第三百六十二號

本市水道鐵管敷設工費トシテ寄附スル者アルトキハ市
 參事會限リ之ヲ處分スルコトヲ得
 但第二期擴張區域内ニ於ケル一部ノ工費寄附金ニシ
 テ其工費金額ノ三分ノ一以内ナルトキハ之ヲ受領ス
 ルコトヲ得ス

● 水道部評議會規程及同細則 明治三十三年九月七日
水道部長通達同部各課へ
 本部評議會規程及同細則左之通相定ム

水道部評議會規程

第一條 水道ニ屬スル事務ニシテ重要ナル事項ヲ評決
 セシムル爲メ評議會ヲ設置ス

第二條 評議會ハ左ノ諸員ヲ以テ組織ス

- 會長
- 部 長
- 各課長
- 會員

本部詰各掛長

部長ノ命シタル掛員

技師ハ特ニ出席シテ決議ノ數ニ加ルコトヲ得

水道部評議會細則

第一條 評議會ハ其必要ニ應シ隨時會長ニ於テ召集スルモノトス

第二條 評議會ニ於テ評決スヘキ事項ハ水道部長之ヲ定ム

第三條 評決ハ出席過半數ニ依リ決ス可否同數ナルトキハ會長之ヲ決ス

第四條 評決シタル事項ハ之ヲ市參事會又ハ市長ニ報告ス

●水道誌編纂委員設置明治三十四年二月十二日
市參事會議決第五百四十五號

本市水道誌編纂ノ必要ヲ認メ候ニ付廳中ニ水道誌編纂

委員ヲ置キ其事務ヲ取扱フコトトシ委員ハ市長ニ於テ之ヲ命スルモノトス

(但書省略)

●水道部検査員以下銓衡内規及同細則

明治三十三年九月五日
水道部長通達同部各課へ

本部銓衡内規及銓衡細則左ノ通り定ム

銓衡内規

第一條 新ニ水道検査員以下ヲ採用セントスルトキハ銓衡委員ノ銓衡ヲ經ルヲ要ス

第二條 銓衡委員ハ左ノ諸員ヲ以テ組織ス

委員長 部長

委員 各課長及本部詰各掛長(三十三年九月七日及ノ
下本部詰ノ三字挿入)

銓衡細則

第一條 銓衡委員會ハ委員長ニ於テ必要ト認ムルトキ

隨時之ヲ召集スルモノトス

第二條 銓衡ハ出席銓衡委員ノ過半數ニ依リテ決ス可
否同數ナルトキハ委員長ノ定ムル所ニ依ル

●水道部検査委員試験委員並同試験規程

明治三十四年二月十九日
水道部部長 決列

水道検査員試験委員規程

水道検査員試験規程

右別紙之通設定シ直ニ施行スルモノトス

(別紙)

水道検査員試験委員規程

第一條 水道部ニ水道検査員試験委員ヲ置ク其人員左
ノ如シ

委員長

一人

委員

四人

試験委員ハ水道部員中ヨリ部長之ヲ命ス

第二條 委員ハ試験問題ヲ定メ水道検査員試験規程ニ
據リ試験ヲ執行スヘシ

第三條 委員ノ意見ハ多數ニ依リ決ス可否同數ナルト
キハ委員長之ヲ決ス

第四條 試験ニ合格シタル者ハ其成績ヲ部長ニ報告ス
ヘシ

水道検査員試験規程

第一條 水道検査員タランコトヲ志願スル者ハ保證人
連署ノ履歷書ヲ添ヘ水道部ニ出願シ本規程ニ據リ試
験ヲ受クルコトヲ要ス

第二條 試験ハ身體強壯ニシテ量水器點檢ニ耐ユルモ
ノニ限り左ノ各項ヲ執行ス

讀書

假名交リ文

筆蹟 楷行草ノ三體及「ペン」ノ運用
 算術 加減乗除 小數諸等比例ノ類
 作文 記事文

第三條 試験評點數ハ一科目百點ヲ滿點トス合格點ハ一科目ノ得點ヲ五拾點トシ平均點ヲ六拾點以上トス
 第四條 前條ノ試験ニ合格シタルモノハ缺員アル毎ニ漸次採用スルモノトス

● 公舎貸付規程 明治三十三年二月二十日
 市參事會議決第五百八十六號
 淀橋芝及本郷各工場内公舎貸付規程別紙ノ通り設定スルモノトス

公舎貸付規程

第一條 公舎ハ本市吏員以下ニシテ汽罐又ハ配水ニ從事スル者ニ貸付居住セシムルモノトス
 第二條 居住者ハ公舎維持費トシテ第三條ノ割合ヲ以

テ毎月給料支給日ニ其月分ヲ納付スヘシ

第三條 公舎維持費納付ノ月額左ノ如シ(三十三年八月市參事會議決第五百八十六號ヲ以テ訂正)
 淀橋淨水工場

- 一等公舎 甲金五圓四拾錢 乙金四圓六拾錢
- 二等公舎 金貳圓六拾錢
- 三等公舎 金貳圓貳拾錢
- 四等公舎 金壹圓參拾錢
- 本郷給水工場
 - 二等公舎 金參圓五拾錢
 - 四等公舎 金壹圓五拾錢

但移轉ノ場合ニ於テハ日割ヲ以テ計算スルモノトス

第四條 居住者ハ公舎ノ一部ヲ他人ニ轉貸又ハ同居セシムヘカラス

第五條 解職又ハ轉勤ノトキハ十五日以内ニ引拂フヘ

シ
 第六條 貸付中ト雖モ都合ニ依リ引拂ヲ命スルコトアルヘシ
 第七條 公舎内ノ疊建具其他ノ附屬品ニ破損ヲ生シタルトキハ自費ヲ以テ修理スヘシ
 第八條 居住中ハ猥リニ公舎ノ模様替又ハ造作等ヲ爲スヘカラス
 第九條 居住者ハ天災又ハ抗拒スヘカラサル事變ノ外公舎ニ損害ヲ蒙ラシメタルトキハ之ニ對スル相當ノ賠償ヲ爲スヘキモノトス

御 請 書
 壹棟(壹戸)
 一何何工場内何等公舎
 右ハ何何服務中御貸付相成候ニ就テハ公舎貸付規程遵守可致候右御請仕候也

年 月 日
 職 名 何 ノ 謹 印
 族 籍
 東京市參事會
 東京市長宛

● 上水道水質試驗施行市明^{三十一}年十二月二十八日
 告^示 第七十七號
 本月二十六日ヨリ本市上水道水質試驗ヲ施行ス

第二節 給水

●水道給水規則明治三十一年十一月二十四日

本市會ノ議決ヲ經東京市水道給水規則左ノ通之ヲ定ム

東京市水道給水規則(三十三年一月十三日市
告示第一號ヲ以テ第五
條削除以下)
順次繰上)

第一章 通則

第一條 東京市水道給水ノ方法ヲ分チテ二種トス

一 放任給水 水量ヲ計ラズシテ供給スルモノ

二 計量給水 水量ヲ計リテ供給スルモノ

第二條 前條ノ給水種別ヘ左ノ區分ニ因リ東京市水道

部(以下單ニ水
道ト云フ)之ヲ定ム

一 普通ノ使用ニ充ツルモノハ放任法ニ因ル

二 左ノ使用ニ充ツルモノハ計量法ニ因ル

一 官衙、公署、兵營、學校、病院、監獄、其他市稅ヲ賦課セサル建造物等ニ對シ供給スルモノ

二 船舶、其他特ニ多量ノ需要ヲ爲スモノニ對シ供給スルモノ

三 噴水

第三條 給水ハ晝夜不斷トス、變災、其他水道ノ破損等已

ムヲ得サル場合ニ於テハ一時其給水ヲ停止シ、又ハ時

宜ニ因リ給水ノ時間及水量ヲ制限スルコトアルヘシ

第四條 給水ヲ別チテ左ノ二種トス

一 專用給水 引用者ノ單獨ナルモノ

二 共用給水 引用者ノ二戸以上ノモノ

第五條 水道用具ハ水道部員ノ外何人タリトモ之ヲ開

閉シ、若クハ之ニ觸ルヘカラズ

第六條 私有ニ係ル水道用具ノ賣買讓與ヲ爲シタルト

キハ雙方連器シ七日以内ニ水道部ニ届出ツヘレ

第七條 引用者ノ門戸ニハ水道部ヨリ交付スル標識ヲ掲ケシム

第八條 私人ノ消火栓ヲ設置セント欲スル者ハ水道部ニ申込ミ其規定ニ從フヘシ

第九條 量水器ハ水道部ノ費用ヲ以テ之ヲ設置シ其使用料ヲ徴シテ引用者ニ貸付ス

但水道部ノ試験ヲ得テ自己所有ノ量水器ヲ使用スルコトヲ得

第十條 此規則ニ要スル諸式用紙ハ總テ水道部ニ於テ交付スヘシ

第二章 給水管及量水器

第十一條 給水管(給水管トハ街路ニ敷設シアル水道管云フ)量水器其他之カ敷設及使用ニ要スル附屬具ハ

水道部ニ於テ調製ス

第十二條 給水管ハ總テ水道部ニ於テ敷設スルモノトス

第十三條 計量給水ニ係ル給水管ハ量水器ヨリ流末ニ於テハ水道部ノ承認ヲ得テ引用者自己ノ材料及職工ヲ使用シ隨意ニ引水ノ装置ヲ爲スコトヲ得

第十四條 給水管ノ修繕改造又ハ撤去ヲ爲サント欲スルモノハ豫メ水道部ノ承認ヲ經ヘシ

第十五條 變災ノ爲メ土地家屋亡失又ハ破壊シタルトキハ其引用者ヨリ引續キ給水ノ請求アル迄ハ一時之ヲ停止ス

第十六條 給水管附屬具等破損セルカ又ハ給水ニ異狀ヲ生シタルトキハ速ニ水道部ニ通報スヘシ

第十七條 水道部員ハ給水管附屬具等検査ノ爲メ午前

八時ヨリ午後五時迄ノ内ニ於テ給水管ノ設ケアル場
所ニ立入ルコトアルヘシ

但水道部ノ印章アル証票ヲ携帯セシム

検査ノ上給水管附属具等ニ修繕ヲ要スルモノアルト

キハ直ニ修繕方ヲ引用者ニ示シ若シ之ニ應セザルト

キハ一時給水ヲ停止ス

第十八條 水道部ハ隨時部員ヲ派出シテ量水器ヲ點檢

セシメ毎回其消費シタル檢査證ヲ作りテ之ヲ其引用

者ニ交付ス

點檢ノ際水量ノ指點正確ナラスト認ムルトキハ其旨

ヲ引用者ニ示スヘシ此場合ニ於テハ前回ノ點檢ヨリ

量水器ノ改修ヲ終ル迄ノ消費水量ハ前回若クハ改修

後ノ平均消費高ニ因リ計算スルモノトス

第十九條 引用者ニ於テ量水器ノ試験ヲ請求スルトキ

ハ水道部ハ引用者ヲ立會ハシメ是カ試験ヲ爲スコト
アルヘシ

前項ノ試験ニ於テ量水器過不足ヲ表スルトキハ其結

果ニ因リ試験請求ノ日ヨリ其以後ニ係ル消費水料ヲ

訂正スヘシ

第三章 給水工事及工費

第二十條 給水ヲ引用セントスル者ハ規定ノ用紙ニ署

名捺印ノ上水道部ニ差出スヘシ

第二十一條 水道部ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキ

ハ工費調書ヲ作り之ヲ請求人ニ交付スヘシ請求人ハ

其交付ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ規定ノ書面ニ

該工費金ヲ添ヘ水道部ニ差出スヘシ

但官衙公署等ノ建造物ニ係ル工費ハ工事施行ノ後

納付セシムルコトアルヘシ

第二十二條 給水管附屬具等ノ敷設及修繕改造撤去ニ係ル費用ハ引用者ノ負擔トス

第二十三條 船舶ノ使用ニ供スル給水ハ水道部ノ規定ニ依リ船舶給水所ニ於テ量水器ニ因リ供給スヘシ

第二十四條 給水ハ水道部ノ承認ヲ受クルニアラザレハ水栓ヨリ直ニ導水器具ヲ以テ他ニ引用スルコトヲ得ス

第四章 共用栓

第二十五條 共用栓ヲ使用スル者ハ總代人ヲ選定シ其住所氏名ヲ水道部ニ届出ツルヲ要ス其總代人ニ異動アリタルトキハ其旨速ニ届出ツヘシ

第二十六條 總代人ハ水料ノ納付其他使用上ニ關スル一切ノ事ヲ處辨スヘシ

第五章 水料及徴收

第二十七條 水料及徴收法ハ以下ニ定ムル所ニ依ル

第二十八條 専用ノ水料ハ一栓ニ付一戸五人迄一ケ年金五圓トシ以上五人迄ヲ増ス毎ニ金貳圓ヲ増加ス

第二十九條 共用ノ水料ハ一栓ニ付六戸迄一ケ年金八圓トシ以上一戸ヲ増ス毎ニ金五拾錢ヲ増加ス

第三十條 官衙公署兵營學校病院監獄銀行會社集會所劇場製造場湯屋染物屋西洋洗濯屋待合茶屋遊船宿芝居茶屋人寄席理髮店料理店飲食店旅人宿合宿所貸座敷船舶等ノ類ニシテ計量法ニ因ル者ノ水料ハ一立方メートルニ付金參錢トス

但船舶ヲ除クノ外建物十五坪(二階以上ハ平)未満ノモノハ放任給水ト爲スコトヲ得

第三十一條 専用水栓ニ支栓ヲ設クルトキハ一栓ニ付一ケ年金參圓ヲ増加ス

但計量法ニ因ルモノハ此限ニアラス

第三十二條 噴水ノ水料ハ一ヶ月使用高百立方メートル迄ハ金四圓五拾錢トシ以上一立方メートルヲ増ス毎ニ金四錢五厘ヲ増加ス

第三十三條 水道部ハ計量法ニ因ルヘキ引用者ニ對シ其使用高ヲ見積リ放任給水ト爲シ又ハ引用者ノ請求若クハ水道部ノ認定ニ因リ放任給水ヲ計量給水トナスコトアルヘシ

第三十四條 牛馬所有者ハ牛馬五頭以下一頭ニ付其水料一ヶ年金參圓六頭以上ハ計量法ニ因ルモノトス

第三十五條 引用者ニ於テ人口建坪及牛馬ノ頭數ニ異動ヲ生シタルトキハ水料納期初日迄ニ其旨水道部ニ届出ヘシ

第三十六條 引用者給水ノ中止又ハ廢止ヲ要スルトキ

ハ少クモ十五日前ニ之ヲ水道部ニ通報スヘシ

但中止ノ場合ニ於テ再ヒ給水ヲ要スルトキハ少ク

モ七日前更ニ其請求ヲ爲スヘシ

第三十七條 量水器使用料及試験手數料ハ水道部ノ規定ニ因リ之ヲ徵收ス

第三十八條 水料ハ一ヶ年度ヲ左ノ四期ニ分チ每期初

月一日ノ現在數量ニ因リ其月末日迄ニ之ヲ徵收ス(三

三年四月二十九日市告示第四十三號ヲ以テ二十日ヲ末日ニ改ム)

第一期 四月一日ヨリ六月三十日迄

第二期 七月一日ヨリ九月三十日迄

第三期 十月一日ヨリ十二月三十一日迄

第四期 一月一日ヨリ三月三十一日迄

第三十九條 新ニ給水スルトキハ其月十五日以前ナレ

ハ一ヶ月十六日以後ナレハ半ヶ月分ノ水料ヲ徵收ス